

# ANTENNA

2026年入試への万全の対策

## 第2回全統記述模試

全国273,791名が参加し実施された第2回全統記述模試の成績結果と学習のアドバイスをお届けします。

今回の模試では夏休みまでの学習成果の確認、弱点・不得意分野の再発見を問う出題がなされています。

これから冬にかけては、一番落ちついて学習に取り組める時期です。本冊子をじっくりと読んで今後の学習の指針として活用してください。

《次回実施のご案内》

次回全統模試のご案内につきましては、こちらをご確認ください。

[www.kawai-juku.ac.jp/zento/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/)



スマートフォンの方はこちら

## もくじ

見直しシート	2
個人成績表の見方	3
成績統計資料	5
総合成績表	5
科目別成績表	6
教科科目別設問別成績表	7
小問（単位問）別平均点	9
学習対策	22
英語	22
数学	22
国語	23
理科	24
地理歴史	27
公民	28
採点に関する問い合わせについて	29
お問い合わせ先一覧	31

※本冊子の編集内容の無断転載・複製を禁止します。

## 全統模試 見直しシート

## STEP 1

個人成績表「1.成績概況」を確認し、受験した教科・科目と偏差値を書き込みましょう。

## STEP 2

個人成績表「5.設問別成績」の、あなたと同じ学力レベル層や、第1志望校の一段階上の判定者との成績比較で差がついた設問を確認し、弱点となっている分野を書き込みましょう。

## STEP 3

弱点分野を中心に、「学習の手引き」や本冊子の「学習対策」、模試ナビの解説講義動画などを確認し、今回の模試の反省点と、今後の具体的な対策（何を、いつまでにやるのか）を書き込みましょう。

## STEP 4

個人成績表「3.志望校別成績・評価」を参考に、次回の模試の目標偏差値を書き込みましょう。

STEP 1		STEP 2	STEP 3		STEP 4
教科・科目	偏差値	弱点分野	今回の反省点	今後の対策	次回の目標偏差値
(例) 英語	52.1	文法・語法	基本的な文法の理解ができていない	次回の模試までに文法集の11～30ページをノートにまとめて復習する	55.0



河合塾 全統模試学習ナビゲーター



模試ナビは、Web上で全統模試の復習や成績確認などができるサービスです

利用料無料



河合塾講師によるわかりやすい解説講義動画が視聴可能！  
間違えた問題は必ずチェックして理解を深めよう。



詳しい学習アドバイスやライバルとの差をつける追加問題  
など、模試ナビだけのコンテンツも多数閲覧できます。

詳しくはこちらから

[www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/)

# 個人成績表の見方

各項目について、詳しくはP.4をご確認ください。

## 1. 成績概況

自分の学力状況や全国での位置づけを確認しましょう

- ✓ 各科目の得点や偏差値、順位、平均点などを表示しています。

教科	科目	あなたの得点 / 配点	全国		校 内						
			偏差値	平均点 (位)	偏差値	平均点 (位)					
英語	英語	112 / 200	59.6 B	76.6 / 28018	155812	74.0	96.0 / 21530	137741	63.8	76.3 / 23	280
数学	数学	149 / 200	67.1 S	77.9 / 3269	64019	73.1	101.7 / 1945	5282	70.2	71.9 / 3	129

## 2. 全統共通テスト模試成績

今年度の同一回の全統共通テスト模試を受験している場合、その成績が表示されます。

教科	科目	あなたの得点 / 配点	全 国		校 内						
			偏差値	平均点 (位)	偏差値	平均点 (位)					
英語	英語	112 / 200	59.6 B	76.6 / 28018	155812	74.0	96.0 / 21530	137741	63.8	76.3 / 23	280
数学	数学	149 / 200	67.1 S	77.9 / 3269	64019	73.1	101.7 / 1945	5282	70.2	71.9 / 3	129

## 5. 設問別成績

分野ごとの成績や、どの分野でライバルと差がついたのかを確認しましょう

- ✓ 各科目の設問別の成績や、成績を基にした学習アドバイスを表示しています。
- ✓ あなたと同じ学力レベル層 (S~Fレベル) の平均点とあなたの得点を比較して、最も良かった設問に○、悪かった設問に▲を表示しています。
- ✓ 第1志望について、あなたの評価より一段階上の判定者との成績比較を表示しています。

### 5 設問別成績

あなたの得点と学力レベル層の成績を比較して、第1志望校の判定者との成績比較も表示しています。

設問	内容	あなたの得点 / 配点	全国平均点	校内平均点	あなたと同じ学力レベル層との成績比較	第1志望校との成績比較
2	中文空所	6 / 15	8.8	8.4	2 / 10.6	-4.6 ▲ -30.7%
3	文法・語法	8 / 20	7.9	8.2	3 / 10.1	-2.1 -10.5%
4	総合問題	31 / 60	17.9	14.8	4 / 24.9	6.1 10.2%
5	総合問題	44 / 60	23.6	23.6	5 / 32.7	11.3 ○ 18.8%
6	英作文	23 / 45	18.3	21.1	6 / 24.8	-1.8 -4.0%

### あなたと同じ学力レベル層との比較

空所補充問題を解くときには、基本的な語い・語法・文法の知識は不可欠です。選択の根拠をはっきり踏まえ解きましょう。

### 学力要素別成績

あなたの得点率と学力要素別の平均得点率を比較して、自身の強弱を確認しましょう。

学力要素区分	あなたの得点率 (%)	全国平均得点率 (%)	校内平均得点率 (%)	平均得点率の差 (%)	あなたと同じ学力レベル層との比較
英語	50.0	39.5	42.7	52.3	-2.3
知識・技能	57.9	37.5	35.2	50.7	7.2
読解力・判断力	45.5	40.8	47.7	53.6	-8.1
数学ⅡC	93.9	61.3	57.7	61.6	2.2
知識・技能	65.2	31.7	27.5	73.0	-7.8
読解力	10.4	13.8	8.5	46.8	-36.4

## 3. 志望校別成績・評価

志望校までの距離やライバルの中での位置づけを確認しましょう

- ✓ 大学・学部ごとの合格可能性評価、志望者内の順位、教科別成績などを表示しています。
- ✓ 合格可能性評価の記号の意味は右表のとおりです。受験教科・科目に不足がある場合などには、注意表示がされます。

## 4. 成績推移

学習成果の長期的な推移を確認しましょう

- ✓ 昨年度の全統記述高2模試、今年度の第1~3回全統記述模試の成績推移を表示しています。

- A : 合格可能性評価80%以上
- B : 合格可能性評価65%
- C : 合格可能性評価50%
- D : 合格可能性評価35%
- E : 合格可能性評価20%以下
- G : 教科・科目数の不足
- H : 範囲不足

## 6. 学力要素別成績

どの学力要素でライバルとの差がついたのか、自身の弱点を確認しましょう

- ✓ 教科別・学力要素別の得点率と、全国や校内の平均得点率を表示しています。
- ✓ あなたと同じ学力レベル層 (S~Fレベル) の平均得点率と、あなたの得点率を比較できるように表示しています。

## 個人成績表の見方<注釈>

### 1. 成績概況

■学力レベルの定義は以下の通りです。

S : 偏差値 65.0 以上	D : 偏差値 45.0 ~ 49.9
A : 偏差値 60.0 ~ 64.9	E : 偏差値 40.0 ~ 44.9
B : 偏差値 55.0 ~ 59.9	F : 偏差値 40.0未満
C : 偏差値 50.0 ~ 54.9	

- 総合1**は、国理、国文、私理、私文の各型の母集団内での位置づけを示します。偏差値は全受験科目の偏差値の平均値です。上記の区別は、受験届の志望別欄のマークによります。未マークの場合は、最も高い志望順位にマークした国公立大学（マークしていない場合は私立大学）の文理区分によります。
  - 総合2**は、文系または理系別の位置づけを示します。偏差値は、文系は英・国・<数or地or公>から2～3教科、理系は英・数・理から2～3教科の偏差値の平均値です。理科、地歴、公民を複数科目受験している場合は、偏差値の高い科目を採用します。
  - 校内成績欄の母集団は、現役生は在籍高校、高卒生のうち予備校生はその予備校（一括申込の場合）です。また、偏差値は母集団が20名以上の場合のみ表示しています。
- ※校内順位は全国偏差値をもとに順位づけしています。

### 2. 全統共通テスト模試成績

- 共通テスト換算得点は、今年度の全統共通テスト模試の科目の得点を、直近の大学入学共通テストの得点に換算したものです。今年度の全統共通テスト模試の中での位置づけが、直近の大学入学共通テストの得点分布ではどのような位置に相当するかを示すもので、来年度の大学入学共通テストの得点を予想するものではありません。
- 理科、地歴、公民において第2解答科目の共通テスト換算得点が第1解答科目より高い場合は“\*”を表示しています。

### 3. 志望校別成績・評価

■河合塾の合格可能性評価は、模試ごとの志望者分布だけでなく、今年度の全体志望動向等を含めて予想しています。

詳しくはこちらからご確認ください。

[www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/)



・合格可能性評価は、それぞれ次の意味を表します。

- A : 合格可能性評価80%以上…今のところ合格圏にあります。このペースで頑張りましょう。
- B : 合格可能性評価65%…油断大敵。合格圏へもうひとふんばりです。
- C : 合格可能性評価50%…ボーダーライン。合格圏めざして頑張りましょう。
- D : 合格可能性評価35%…これからの努力で、まだまだ伸びます。大いに頑張りましょう。
- E : 合格可能性評価20%以下……再検討を要します。学習法を一考しましょう。
- G : 教科・科目数の不足…志望大学入試に必要な教科・科目のなかに未受験のものがあります。
- H : 範囲不足…英語（リスニング）、数学（Ⅰ型、Ⅱ型、Ⅲ型）、国語（現・古・漢）のいずれかの範囲が不足しています。理科（全範囲）を課す大学を志望していますが、理科基礎を受験しています。なお、選択科目がある場合、通常は偏差値が高い方の科目を用いますが、一方の科目が範囲不足となっている場合は、成績に関わりなく範囲不足になっていないもう一方の科目を用いて合格可能性評価を行います。
- # : 大学入学共通テストと二次試験で同一科目受験が制限されている大学の志望者が、共通テスト模試と記述模試でその同一科目を受験した場合は合格可能性評価に「#」を付し、注意を促しています。
- \* : 英・数・国・理・地公の教科試験が課されない等の理由により、合格可能性評価を行いません。

- ・志望大学に必要な教科・科目を一部受験していない場合は、受験している科目で評価偏差値を計算して評価を行い、評価欄にG付評価（例：BG、CGなど）を表示します。1科目も受験していない場合は、評価欄に「G」を付し、A～Eの評価は表示されません。
- ・ボーダーランク欄の「BF（ボーダーフリー）」という表示は、ボーダーラインが設定できなかった大学の募集区分（不合格者が少ないため、合格率50%となるボーダーラインがどの偏差値帯においても存在しないもの）を表しています。
- 定員**は、4年制大学および短期大学は募集人員、専門学校などは入学定員を表示しています。非公表の場合は河合塾推定で“\*”を付しています。大学が若干名と公表している場合、もしくは、設定できない場合、募集人数を“0”と表示しています。
- 志望大学の中で、第1志望者内での集計と、総志望者での集計を行い、**順位と平均偏差値**を表示します。
- ・「第1志望者」は、国公立大については当該大学を前期、中期、後期の各日程内で最も高い志望順位に記入した方、私立大その他についてはその中で当該大学を最も高い志望順位に記入した方、をそれぞれ集計対象としています。
- ・第2志望以下の大学における第1志望者欄の順位は、第1志望者の母集団に当てはめた場合の順位です。

- ・平均偏差値は二次・一般の評価偏差値の平均です。二次試験で学科試験を課さない国公立大、大学独自の個別学科試験を課さない共通テスト利用私大・短大は、偏差値表示はされません。
- 教科別成績**には、各志望校の教科別の平均偏差値、本人成績、大学配点（各志望校の教科別配点）が表示されます。
- ・**平均偏差値**は、国公立大については第1志望者を、私立大その他については総志望者を集計対象としています。入試に課されない教科についても参考として表示しています。二次試験で学科試験を課さない国公立大は第1志望者、大学独自試験を課さない共通テスト利用私大・短大は総志望者の平均偏差値が参考として表示されます。第1志望者が0人の場合は表示されません。
- ・**本人成績**は、<1. 成績概況>の科目の偏差値の中で合格可能性評価に使用した科目の偏差値を表示しています（母集団はその科目を受験した方です）。理科、地歴、公民で2科目以上受験している場合は、入試で課される科目が1科目であれば使用した科目、2科目であれば科目の配点比率に応じて計算された偏差値が表示されます。

【例】E大学を志望したF君の場合

E大学の理科の配点 化学 80点 生物 40点  
F君の記述模試の偏差値 化学 52.0 生物 59.8  
とすると、F君のE大学の教科別成績の理科の欄は、

$$\frac{\{(52.0 \times 80) + (59.8 \times 40)\}}{80 + 40} = 54.6$$

下記の記号は、それぞれ次の意味を表します。

- G : 必須教科・科目数の不足、H : 範囲不足
- ・**大学配点**は、入試に課される教科の教科別の配点のうち、あなたの合格可能性評価に採用された教科について表示されています。ただし、あなたが受験していない教科については表示されません。

### 4. 成績推移

- 昨年度の全統記述高2模試、今年度の第1～3回全統記述模試の成績推移を表示します。学力伸長度・学習成果の長期的な変化を確認できます。

### 5. 設問別成績

- 第1志望校の一段階上の判定者との成績比較とは、例えばあなたがC判定であれば、B判定者の平均点との比較になります（A判定の場合はA判定者の平均点との比較になります）。母集団は国公立大は出願予定者、私立大は総志望者です。一段階上の判定者が一人もいない場合は表示されません。

### 6. 学力要素別成績

- 今回の模試で出題された各問題が主にどんな学力を問うているのかを、学力を「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」の3要素に分類し、学力要素ごとの成績（得点率）を表示しています。選択問題が出題されている場合は、選択パターンごとに集計しています。

# ◆総合成績表

受験者総数 **273,791** 名

(現役：246,475名/高卒：27,316名)

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	82.4	80.1	104.0	41.8	50.0	49.4	55.2	200	0	271732	244641	27091
I型	100	32.1	32.0	36.3	20.4	50.0	49.9	52.0	100	0	10491	10295	196
II型	200	64.5	62.3	95.2	40.9	50.0	49.5	57.5	200	0	83327	77558	5769
III型	200	80.6	76.4	105.0	42.6	50.0	49.0	55.7	200	0	107544	91905	15639
現代文	150	58.9	58.4	67.2	17.3	50.0	49.7	54.8	144	0	13701	12948	753
現・古	200	78.3	78.1	79.7	20.0	50.0	50.0	50.7	175	0	34796	32153	2643
現古漢	200	78.3	77.5	89.1	24.6	50.0	49.7	54.4	186	0	139457	130122	9335
物理基礎	50	22.8	22.9	21.2	9.7	50.0	50.1	48.4	49	0	1545	1502	43
物理	100	34.6	32.3	50.0	20.5	50.0	48.9	57.5	100	0	91102	79333	11769
化学基礎	50	19.9	19.9	22.3	9.1	50.0	50.0	52.7	50	0	6205	6096	109
化学	100	42.4	39.7	59.5	22.3	50.0	48.8	57.7	100	0	113349	98139	15210
生物基礎	50	19.5	19.5	20.6	8.6	50.0	50.0	51.3	49	0	7432	7303	129
生物	100	36.1	34.0	50.1	16.9	50.0	48.7	58.3	97	0	32301	28036	4265
地学基礎	50	19.2	19.2	21.0	8.8	50.0	50.0	52.1	48	0	1512	1497	15
地学	100	39.3	37.5	44.8	20.4	50.0	49.1	52.7	96	1	300	226	74
世界史	100	39.4	38.4	52.3	19.5	50.0	49.5	56.6	100	0	41697	38699	2998
日本史	100	36.1	34.8	55.4	21.8	50.0	49.4	58.9	100	0	62662	58594	4068
地理	100	35.8	34.8	50.4	17.1	50.0	49.4	58.6	94	0	12725	11931	794
倫理	100	32.5	32.3	49.2	14.3	50.0	49.9	61.7	94	0	4526	4469	57
政治経済	100	32.8	32.4	46.6	14.0	50.0	49.7	59.8	99	0	31574	30652	922

全国の受験者の中での位置を教科・科目別/志望別に確認できる「教科科目別成績順位表」「志望別順位表」や、選択した志望校以外の大学・学部・学科の二次試験・一般試験の合格可能性が確認できる「合格可能性評価基準一覧」を、河合塾ホームページに掲載しています。

スマートフォンの方は  
こちら



[www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/)

## ◆科目別成績表

受験者が1名の場合は成績は表示しておりません。

## 国公立大理系

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	93.0	90.2	111.8	-----	52.5	51.9	57.0	198	0	100995	88051	12944
I型	100	43.1	43.1	41.5	-----	55.4	55.4	54.6	100	0	1157	1135	22
II型	200	60.9	60.0	79.4	-----	49.1	48.9	53.7	200	0	13221	12597	624
III型	200	84.8	80.8	108.7	-----	51.0	50.0	56.6	200	0	86955	74600	12355
現代文	150	67.6	66.4	77.0	-----	55.0	54.3	60.5	116	0	2612	2302	310
現・古	200	89.8	89.3	93.0	-----	55.8	55.6	57.4	155	7	1448	1247	201
現古漢	200	79.1	78.4	93.1	-----	50.3	50.0	56.0	172	0	39439	37556	1883
物理基礎	50	24.6	24.6	24.6	-----	51.9	51.9	51.8	49	0	575	561	14
物理	100	37.1	34.9	51.5	-----	51.2	50.1	58.3	100	0	74328	64464	9864
化学基礎	50	22.3	22.2	24.6	-----	52.6	52.5	55.2	49	0	1547	1514	33
化学	100	44.9	42.4	61.4	-----	51.1	50.0	58.5	100	0	92830	80527	12303
生物基礎	50	21.7	21.7	23.1	-----	52.5	52.5	54.2	48	0	1321	1294	27
生物	100	38.7	36.8	51.5	-----	51.5	50.4	59.1	97	0	22819	19919	2900
地学基礎	50	18.3	18.0	26.0	-----	49.0	48.6	57.8	37	0	52	50	2
地学	100	42.1	40.7	46.0	-----	51.4	50.7	53.3	96	4	264	195	69
世界史	100	26.7	26.1	41.8	-----	43.5	43.2	51.2	62	0	133	128	5
日本史	100	26.5	26.4	33.0	-----	45.6	45.6	48.6	82	0	387	383	4
地理	100	31.4	31.4	36.6	-----	47.4	47.4	50.4	83	0	3261	3241	20
倫理	100	29.1	29.1	-----	47.6	47.7	-----	71	3	169	168	1	
政治経済	100	29.7	29.4	38.2	-----	47.8	47.6	53.9	74	0	661	644	17

## 国公立大文系

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	90.2	88.5	112.4	-----	51.9	51.5	57.2	198	0	64761	60036	4725
I型	100	36.6	36.5	42.5	-----	52.2	52.2	55.1	98	0	2398	2349	49
II型	200	72.7	70.1	103.0	-----	52.0	51.4	59.4	200	0	48493	44613	3880
III型	200	53.5	52.4	72.0	-----	43.6	43.4	48.0	165	0	542	511	31
現代文	150	63.9	63.9	63.9	-----	52.9	52.9	52.9	110	0	1359	1266	93
現・古	200	87.7	87.6	88.3	-----	54.8	54.7	55.1	154	6	3940	3542	398
現古漢	200	83.6	82.8	94.4	-----	52.2	51.8	56.6	186	0	58582	54447	4135
物理基礎	50	24.6	24.5	30.7	-----	51.9	51.7	58.1	47	0	248	242	6
物理	100	19.7	18.8	44.0	-----	42.7	42.3	54.6	80	0	676	653	23
化学基礎	50	22.9	22.9	27.0	-----	53.3	53.3	57.8	50	0	1804	1780	24
化学	100	24.7	24.2	42.9	-----	42.0	41.8	50.2	91	0	1002	975	27
生物基礎	50	21.6	21.6	21.4	-----	52.4	52.4	52.2	48	0	2515	2484	31
生物	100	26.3	26.2	32.5	-----	44.2	44.1	47.9	67	0	502	492	10
地学基礎	50	21.4	21.4	20.2	-----	52.5	52.5	51.2	48	0	1097	1084	13
地学	100	22.9	20.7	-----	41.9	40.9	-----	38	1	8	7	1	
世界史	100	42.3	41.2	57.8	-----	51.5	50.9	59.5	100	0	20419	19065	1354
日本史	100	37.6	36.5	58.1	-----	50.7	50.2	60.1	100	0	27531	26098	1433
地理	100	41.9	40.7	53.0	-----	53.6	52.9	60.1	94	0	6641	5988	653
倫理	100	35.2	35.0	52.2	-----	51.9	51.7	63.8	94	0	3464	3414	50
政治経済	100	34.5	34.3	45.0	-----	51.2	51.1	58.7	95	0	18226	17862	364

## 私立大理系

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	62.9	59.5	89.2	-----	45.3	44.5	51.6	196	0	32369	28625	3744
I型	100	33.2	33.3	29.5	-----	50.5	50.6	48.7	96	0	2811	2758	53
II型	200	46.4	45.4	65.3	-----	45.6	45.3	50.2	192	0	9417	8962	455
III型	200	63.6	58.1	91.6	-----	46.0	44.7	52.6	200	0	19415	16223	3192
現代文	150	58.2	58.0	64.3	-----	49.6	49.5	53.1	144	0	3263	3159	104
現・古	200	69.6	69.2	80.0	-----	45.7	45.5	50.9	124	0	845	820	25
現古漢	200	55.5	55.5	54.5	-----	40.7	40.7	40.3	157	0	3965	3934	31
物理基礎	50	21.0	21.2	15.5	-----	48.2	48.4	42.4	45	0	601	581	20
物理	100	24.2	21.7	42.2	-----	44.9	43.7	53.7	100	0	15395	13538	1857
化学基礎	50	18.0	17.9	19.5	-----	47.9	47.8	49.5	50	0	1681	1640	41
化学	100	32.0	28.4	51.7	-----	45.3	43.7	54.2	99	0	18470	15620	2850
生物基礎	50	18.4	18.3	20.3	-----	48.7	48.6	50.9	49	0	1964	1906	58
生物	100	30.9	27.7	47.3	-----	46.9	45.0	56.6	95	1	8340	7006	1334
地学基礎	50	9.3	9.3	-----	38.8	38.8	-----	31	0	44	44	-----	
地学	100	17.4	15.2	25.8	-----	39.3	38.2	43.4	48	2	19	15	4
世界史	100	20.4	20.4	-----	40.2	40.3	-----	56	2	84	83	1	
日本史	100	14.4	14.5	12.0	-----	40.1	40.1	39.0	52	0	198	196	2
地理	100	19.5	19.6	-----	40.5	40.5	-----	61	0	450	449	1	
倫理	100	21.7	22.1	-----	42.5	42.8	-----	62	7	36	35	1	
政治経済	100	23.5	23.5	-----	43.4	43.4	-----	84	2	209	209	-----	

## 私立大文系

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	69.8	68.1	89.5	-----	47.0	46.6	51.7	200	0	73002	67407	5595
I型	100	25.5	25.4	35.7	-----	46.8	46.7	51.7	100	0	4068	4000	68
II型	200	50.0	47.4	87.3	-----	46.4	45.8	55.6	200	0	12096	11311	785
III型	200	43.4	41.8	74.5	-----	41.3	40.9	48.6	171	0	461	438	23
現代文	150	54.6	54.5	57.7	-----	47.5	47.5	49.3	142	0	6408	6166	242
現・古	200	76.6	76.6	76.6	-----	49.2	49.2	49.2	175	0	28529	26511	2018
現古漢	200	71.5	70.6	80.3	-----	47.2	46.9	50.8	172	0	37390	34111	3279
物理基礎	50	19.5	19.3	25.3	-----	46.6	46.4	52.6	42	2	118	115	3
物理	100	10.4	10.1	23.9	-----	38.2	38.0	44.8	77	0	656	639	17
化学基礎	50	14.9	14.9	16.1	-----	44.5	44.5	45.8	44	0	1164	1153	11
化学	100	14.6	14.3	30.3	-----	37.5	37.4	44.6	79	0	975	955	20
生物基礎	50	15.8	15.8	15.0	-----	45.7	45.7	44.8	43	0	1615	1602	13
生物	100	21.0	20.6	39.8	-----	41.0	40.8	52.2	77	2	594	582	12
地学基礎	50	13.3	13.3	-----	43.3	43.3	-----	34	0	319	319	-----	
地学	100	16.2	16.2	-----	38.7	38.7	-----	33	4	6	6	-----	
世界史	100	36.7	35.7	47.7	-----	48.6	48.1	54.3	100	0	21046	19408	1638
日本史	100	35.2	33.7	54.0	-----	49.6	48.9	58.2	100	0	34511	31883	2628
地理	100	27.7	27.1	39.2	-----	45.3	44.9	52.0	91	0	2365	2245	120
倫理	100	22.8	22.8	31.8	-----	43.2	43.2	49.5	93	0	855	850	5
政治経済	100	30.5	29.7	47.9	-----	48.4	47.8	60.8	99	0	12463	11922	541

# ◆教科科目別設問別成績表

## 英 語

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
		200	82.4	80.1	104.0		41.8	200	0	271732	244641	27091
1	リスニング	15	8.1	8.0	9.4		4.4	15	0	170294	165796	4498
2	中文空所補充	15	7.3	6.9	8.7		4.2	15	0	101433	78840	22593
3	文法・語法	20	9.3	9.1	11.5		4.2	20	0	271732	244641	27091
4	総合問題（客観中心）	60	27.2	26.4	34.6		14.6	60	0	271732	244641	27091
5	総合問題（記述中心）	60	20.2	19.3	27.9		15.7	60	0	271732	244641	27091
6	英作文（整序・本格・自由）	45	18.0	17.6	21.2		10.9	45	0	271732	244641	27091

## 数学 I 型

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数			
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒	
		100	32.1	32.0	36.3	数学 I	30.3	数学 I A	32.4	20.4	10491	10295	196
1	2次関数、方程式・不等式、三角比	60	23.7	23.7	26.3	19.6	24.5	15.1	60	0	10491	10295	196
2	余弦定理、三角形の面積	40	10.7	10.7	9.9	10.7		10.4	40	0	1619	1594	25
3	最小値、不等式が常に成り立つ条件	40	6.3	6.3	9.6		6.3	7.0	40	0	3340	3263	77
4	球を取り出す試行に関する確率	40	9.0	8.9	10.5		9.0	8.4	40	0	5431	5339	92

## 数学 II 型

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数			
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒	
		200	64.5	62.3	95.2	46.4	67.4	40.9	200	0	83327	77558	5769
1	2次不等式、整数、三角関数、指数	50	19.0	18.3	28.2	13.0	20.0	12.4	50	0	83327	77558	5769
2	放物線や直線で囲まれる図形の面積	50	12.5	11.8	21.1	6.8	13.4	13.4	50	0	83327	77558	5769
3	球を取り出す試行に関する確率	50	17.3	17.0	21.6	13.4	17.9	11.8	50	0	83327	77558	5769
4	直線、円、線分の長さの最小値	50	12.9	12.8	16.3	12.9		10.4	50	0	8725	8438	287
5	群数列の規則性、項の値と和	50	19.7	19.0	29.0	13.9	20.2	17.7	50	0	34632	32009	2623
6	内積、共線条件・垂直条件、垂心	50	13.3	12.6	21.4		13.3	13.8	50	0	38995	36209	2786

## 数学 III 型

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数			
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒	
		200	80.6	76.4	105.0	80.6		42.6	200	0	107544	91905	15639
1	確率、整数、2直線のなす角、指数	40	19.2	18.5	23.0	19.2		9.4	40	0	107544	91905	15639
2	群数列の規則性、項の値と和	40	23.2	22.3	28.7	23.2		14.8	40	0	107544	91905	15639
3	内積、垂心の位置ベクトル、面積	40	11.6	10.8	15.9	11.6		10.3	40	0	107544	91905	15639
4	最大値、極値をもつ条件、極限	40	10.6	9.8	15.3	10.6		9.5	40	0	107544	91905	15639
5	反転、領域、線分の長さの比の最小	40	7.2	7.0	9.4	7.2		5.8	40	0	37545	34517	3028
6	部分積分法、図形の面積	40	20.9	19.9	25.4	20.9		12.3	40	0	69233	56742	12491

## 現代文型

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
		150	58.9	58.4	67.2		17.3	144	0	13701	12948	753
1	現代文（評論）	50	20.8	20.7	23.3		7.2	50	0	13701	12948	753
2	現代文（随筆）	50	17.1	17.0	20.2		7.4	50	0	13701	12948	753
5	現代文（随筆）	50	20.9	20.7	23.8		8.6	48	0	13701	12948	753

## 現・古型

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
		200	78.3	78.1	79.7		20.0	175	0	34796	32153	2643
1	現代文（評論）	50	22.1	22.0	22.5		6.7	50	0	34796	32153	2643
2	現代文（随筆）	50	19.1	19.0	20.0		7.2	49	0	34796	32153	2643
3	古文（日記）	50	14.4	14.4	13.8		7.0	42	0	34796	32153	2643
5	現代文（随筆）	50	22.7	22.6	23.4		8.2	50	0	34796	32153	2643

## 現・古・漢型

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
		200	78.3	77.5	89.1		24.6	186	0	139457	130122	9335
1	現代文（評論）	50	23.5	23.4	24.9		6.7	50	0	139457	130122	9335
2	現代文（随筆）	50	21.4	21.2	23.7		7.6	50	0	139457	130122	9335
3	古文（日記）	50	17.4	17.2	19.7		7.5	50	0	139457	130122	9335
4	漢文（説話）	50	16.0	15.7	20.8		11.1	50	0	139457	130122	9335

## 国語

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
1	現代文（評論）	50	23.0	22.9	24.3		6.8	50	0	187954	175223	12731
2	現代文（随筆）	50	20.7	20.5	22.7		7.6	50	0	187954	175223	12731
3	古文（日記）	50	16.8	16.6	18.4		7.5	50	0	174253	162275	11978
4	漢文（説話）	50	16.0	15.7	20.8		11.1	50	0	139457	130122	9335
5	現代文（随筆）	50	22.2	22.1	23.5		8.4	50	0	48497	45101	3396

## 物理基礎

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		50	22.8	22.9	21.2	9.7	49	0	1545	1502	43
1	等加速度直線運動	30	13.0	13.0	12.8	7.2	30	0	1545	1502	43
2	波の性質・定在波	20	9.8	9.8	8.4	3.8	20	0	1545	1502	43

## 物 理

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		100	34.6	32.3	50.0	20.5	100	0	91102	79333	11769
1	円運動	33	9.1	8.5	13.4	6.9	33	0	91102	79333	11769
2	気体の状態変化	33	13.0	12.2	18.1	8.1	33	0	91102	79333	11769
3	コンデンサー	34	12.5	11.6	18.5	8.3	34	0	91102	79333	11769

## 化学基礎

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		50	19.9	19.9	22.3	9.1	50	0	6205	6096	109
1	化学結合の種類、反応と量的関係	25	12.3	12.3	13.8	5.4	25	0	6205	6096	109
2	酸化・還元、金属のイオン化傾向	25	7.6	7.6	8.6	4.7	25	0	6205	6096	109

## 化 学

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		100	42.4	39.7	59.5	22.3	100	0	113349	98139	15210
1	ハロゲン、化学反応とエネルギー	26	13.7	13.0	17.9	6.9	26	0	113349	98139	15210
2	有機化学	27	11.6	10.7	17.8	8.0	27	0	113349	98139	15210
3	気体、蒸気圧、気体の溶解度	26	11.0	10.4	14.8	6.8	26	0	113349	98139	15210
4	電離平衡	21	6.1	5.6	9.1	4.6	21	0	113349	98139	15210

## 生物基礎

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		50	19.5	19.5	20.6	8.6	49	0	7432	7303	129
1	DNAの構造と複製のしくみ	17	6.6	6.6	7.4	3.6	17	0	7432	7303	129
2	ヒトの中枢神経系と末梢神経系	16	6.4	6.4	6.2	3.5	16	0	7432	7303	129
3	日本のバイオームの垂直分布	17	6.5	6.5	6.9	4.0	17	0	7432	7303	129

## 生 物

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		100	36.1	34.0	50.1	16.9	97	0	32301	28036	4265
1	光合成のしくみ	25	8.7	8.3	11.8	4.8	25	0	32301	28036	4265
2	遺伝子発現、選択的スプライシング	25	9.6	9.1	13.3	5.2	25	0	32301	28036	4265
3	自律神経系、内分泌系	25	8.4	7.9	12.2	4.9	25	0	32301	28036	4265
4	遺伝子頻度、遺伝	25	9.3	8.8	12.8	5.7	25	0	32301	28036	4265

## 地学基礎

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		50	19.2	19.2	21.0	8.8	48	0	1512	1497	15
1	地球の内部構造	16	7.6	7.6	8.3	3.6	16	0	1512	1497	15
2	柱状図と地球環境	17	6.0	6.0	6.1	3.5	17	0	1512	1497	15
3	日本の天気	9	3.3	3.3	3.7	2.3	9	0	1512	1497	15
4	太陽	8	2.3	2.3	2.9	1.9	8	0	1512	1497	15

## 地 学

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		100	39.3	37.5	44.8	20.4	96	1	300	226	74
1	プレートの運動と地震	20	8.7	8.2	10.5	5.5	20	0	300	226	74
2	地表の変化と堆積岩	20	10.7	10.3	11.8	4.7	20	0	300	226	74
3	地質図と新生代第四紀の気候変動	20	6.8	6.3	8.3	5.4	20	0	300	226	74
4	大気の大循環と海洋	20	7.5	7.3	8.3	4.9	20	0	300	226	74
5	地球の公転と恒星の性質	20	5.5	5.4	5.9	4.7	20	0	300	226	74

## 世界史

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		100	39.4	38.4	52.3	19.5	100	0	41697	38699	2998
1	ドイツとロシアの歴史	26	11.4	11.1	15.4	6.6	26	0	41697	38699	2998
2	衣類とファッションの歴史	24	9.3	9.2	11.2	3.9	24	0	41697	38699	2998
3	宗教・思想と政治・社会の関係	24	9.8	9.5	13.0	5.5	24	0	41697	38699	2998
4	金・銀の流通と国家	26	8.9	8.6	12.5	5.8	26	0	41697	38699	2998

## 日本史

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		100	36.1	34.8	55.4	21.8	100	0	62662	58594	4068
1	古代・中世初期における国家と仏教	30	11.3	10.8	17.9	7.5	30	0	62662	58594	4068
2	硫黄の交易にみる日本と大陸の関係	20	7.9	7.6	11.5	5.1	20	0	62662	58594	4068
3	自力救済と中世の社会	20	6.0	5.7	10.3	5.2	20	0	62662	58594	4068
4	江戸時代の幕政の展開	30	11.0	10.6	15.7	6.7	30	0	62662	58594	4068

## 地 理

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		100	35.8	34.8	50.4	17.1	94	0	12725	11931	794
1	世界の地形と地形図の読図	25	9.6	9.4	12.6	4.6	25	0	12725	11931	794
2	世界の農牧業	25	8.9	8.7	12.6	4.9	25	0	12725	11931	794
3	交通・通信、貿易、観光	25	8.7	8.4	12.6	5.1	25	0	12725	11931	794
4	東南アジア・南アジア	25	8.6	8.4	12.7	5.3	25	0	12725	11931	794

## 倫 理

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		100	32.5	32.3	49.2	14.3	94	0	4526	4469	57
1	現代社会における倫理	24	9.1	9.1	13.6	4.4	24	0	4526	4469	57
2	西洋の源流思想	26	10.3	10.3	13.8	5.7	26	0	4526	4469	57
3	江戸時代の思想	26	6.3	6.2	11.0	4.1	26	0	4526	4469	57
4	市民社会の倫理	24	6.8	6.8	10.7	3.9	24	0	4526	4469	57

## 政治・経済

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		100	32.8	32.4	46.6	14.0	99	0	31574	30652	922
1	日本国憲法の人権保障	20	7.5	7.4	10.4	4.1	20	0	31574	30652	922
2	現代日本の政治過程	20	5.9	5.8	9.2	3.7	20	0	31574	30652	922
3	日本経済の課題・産業構造の変化	20	6.8	6.7	9.7	3.7	20	0	31574	30652	922
4	国民所得、中小企業・農業問題	20	5.5	5.5	8.3	3.1	20	0	31574	30652	922
5	国民生活の諸課題	20	7.0	7.0	8.9	3.6	20	0	31574	30652	922

小問(単位問)別平均点 〈英語〉

英 語 受験者数： 271732 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	リスニング	15	8.1	1.1	3	1.4		○	
				1.2	3	1.7		○	
				1.3	3	1.7		○	
				1.4	3	1.1		○	
				1.5	3	2.2		○	
2	中文空所補充	15	7.3	2(1)	3	0.8		○	
				2(2)	3	1.0		○	
				2(3)	3	1.3		○	
				2(4)	3	2.4		○	
				2(5)	3	1.7		○	
3	文法・語法	20	9.3	3.A.1	2	1.3	○		
				3.A.2	2	1.2	○		
				3.A.3	2	0.6	○		
				3.A.4	2	1.3	○		
				3.A.5	2	0.4	○		
				3.A.6	2	0.9	○		
				3.A.7	2	1.0	○		
				3.A.8	2	0.9	○		
				3.B.1	2	1.1	○		
				3.B.2	2	0.5	○		
4	総合問題(客観中心)	60	27.2	4.問1	4	1.8		○	
				4.問2	8	3.2		○	
				4.問3	8	4.8		○	
				4.問4	8	2.5		○	
				4.問5	10	5.1		○	
				4.問6	12	5.5		○	
				4.問7	4	2.5		○	
				4.問8	6	1.8		○	
5	総合問題(記述中心)	60	20.2	5.問1	5	2.4		○	
				5.問2	10	3.5		○	
				5.問3	12	3.2		○	
				5.問4	12	2.5		○	
				5.問5	6	2.9		○	
				5.問6	10	2.9		○	
				5.問7	5	2.7		○	
6	英作文(整序・本格・自由)	45	18.0	6.A.1	4	2.1	○		
				6.A.2	4	0.7	○		
				6.A.3	4	1.3	○		
				6.B(1)	7	2.8		○	○
				6.B(2)	10	3.5		○	○
				6.C	16	7.6			○

小問(単位問)別平均点 〈数学I型〉

I 型 受験者数： 10491 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	2次関数、方程式・不等式、三角比	60	23.7	1(1)(i)	5	2.5	○		
				1(1)(ii)	5	2.3	○		
				1(1)(iii)	5	1.1	○		
				1(2)(i)	9	6.4	○		
				1(2)(ii)	3	1.6	○		
				1(2)(iii)	5	1.2	○		
				1(3)(i)	6	3.6	○		
				1(3)(ii)	7	0.8	○		
				1(4)(i)	5	2.0	○		
				1(4)(ii)	5	2.0	○		
				1(4)(iii)	5	0.4	○		
				2	余弦定理、三角形の面積	40	10.7	2(1)	16
2(2)(i)	16	2.6						○	
2(2)(ii)	8	0.0						○	
3	最小値、不等式が常に成り立つ条件	40	6.3	3(1)	16	5.1	○		
				3(2)	12	1.1		○	
				3(3)	12	0.2		○	
4	球を取り出す試行に関する確率	40	9.0	4(1)	12	5.9		○	
				4(2)	16	2.8		○	
				4(3)	12	0.3		○	

## 小問(単位問)別平均点〈数学Ⅱ型〉

Ⅱ型 受験者数： 83327 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	2次不等式、整数、三角関数、指数	50	19.0	1(1)(i)	6	4.8	○		
				1(1)(ii)	6	1.5	○		
				1(2)	12	2.9	○		
				1(3)(i)	6	2.8	○		
				1(3)(ii)	8	1.6	○		
				1(4)	12	5.4	○		
2	放物線や直線で囲まれる図形の面積	50	12.5	2(1)	14	7.6	○		
				2(2)	12	3.2		○	
				2(3)(i)	14	1.4		○	
				2(3)(ii)	10	0.3		○	
3	球を取り出す試行に関する確率	50	17.3	3(1)	16	11.0		○	
				3(2)	16	5.1		○	
				3(3)	18	1.1		○	
4	直線、円、線分の長さの最小値	50	12.9	4(1)	12	8.3	○		
				4(2)	18	3.6		○	
				4(3)	20	1.1		○	○
5	群数列の規則性、項の値と和	50	19.7	5(1)	14	7.3	○		
				5(2)	18	7.8		○	
				5(3)	18	4.7		○	
6	内積、共線条件・垂直条件、垂心	50	13.3	6(1)	10	6.8	○		
				6(2)(i)	18	4.4		○	
				6(2)(ii)	22	2.1		○	

## 小問(単位問)別平均点〈数学Ⅲ型〉

Ⅲ型 受験者数： 107544 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	確率、整数、2直線のなす角、指数	40	19.2	1(1)	10	6.8	○		
				1(2)	10	4.2	○		
				1(3)(i)	2	1.9	○		
				1(3)(ii)	8	4.1	○		
				1(4)	10	2.2	○		
2	群数列の規則性、項の値と和	40	23.2	2(1)	10	6.1	○		
				2(2)	15	9.6		○	
				2(3)	15	7.5		○	
3	内積、垂心の位置ベクトル、面積	40	11.6	3(1)	6	4.5	○		
				3(2)(i)	10	4.0		○	
				3(2)(ii)	12	2.8		○	
				3(3)	12	0.2		○	○
4	最大値、極値をもつ条件、極限	40	10.6	4(1)	14	7.5	○		
				4(2)(i)	10	2.6		○	
				4(2)(ii)	16	0.5		○	○
5	反転、領域、線分の長さの比の最小	40	7.2	5(1)	10	6.2	○		
				5(2)(i)	14	1.0		○	
				5(2)(ii)	16	0.1		○	
6	部分積分法、図形の面積	40	20.9	6(1)	10	8.3	○		
				6(2)	14	8.4	○		
				6(3)	16	4.2		○	

小問(単位問)別平均点 〈国語〉

現代文 受験者数： 13701 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	現代文(評論)	50	20.8	1.問1.X	4	3.1		○	
				1.問1.Y	4	1.9		○	
				1.問2	14	3.2		○	○
				1.問3	16	4.9		○	○
2	現代文(随筆)	50	17.1	1.問4	12	7.8		○	
				2.問1.a	2	0.9	○		
				2.問1.b	2	0.8	○		
				2.問1.c	2	0.2	○		
				2.問1.d	2	0.8	○		
				2.問1.e	2	0.7	○		
				2.問2.x	2	0.8	○		
				2.問2.y	2	0.8	○		
				2.問2.z	2	0.8	○		
				2.問3	6	2.9		○	
				2.問4	16	2.8		○	○
				2.問5	12	5.6		○	
				5	現代文(随筆)	50	20.9	5.問1.a	2
5.問1.b	2	1.4	○						
5.問1.c	2	1.7	○						
5.問1.d	2	0.1	○						
5.問1.e	2	1.6	○						
5.問2.x	2	0.8	○						
5.問2.y	2	1.0	○						
5.問2.z	2	0.4	○						
5.問3	4	3.0						○	
5.問4	14	2.4						○	○
5.問5	6	3.5						○	
5.問6	6	2.7						○	
5.問7	4	0.9	○						

小問(単位問)別平均点 〈国語〉

現・古 受験者数： 34796 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	現代文(評論)	50	22.1	1.問1.X	4	3.2		○					
				1.問1.Y	4	2.0		○					
				1.問2	14	3.6		○	○				
				1.問3	16	5.3		○	○				
2	現代文(随筆)	50	19.1	1.問4	12	8.1		○					
				2.問1.a	2	1.2	○						
				2.問1.b	2	0.9	○						
				2.問1.c	2	0.3	○						
				2.問1.d	2	1.0	○						
				2.問1.e	2	0.8	○						
				2.問2.x	2	0.9	○						
				2.問2.y	2	1.0	○						
				2.問2.z	2	0.9	○						
				2.問3	6	3.1		○					
				2.問4	16	3.1		○	○				
				2.問5	12	5.9		○					
				3	古文(日記)	50	14.4	3.問1.a	2	1.5	○		
3.問1.b	2	1.3	○										
3.問2.1	4	1.4	○										
3.問2.4	4	0.3	○										
3.問3	6	3.6						○					
3.問4(1)	6	2.7							○				
3.問4(2)	9	0.3							○				
3.問5	6	0.0							○				
3.問6	8	2.0							○				
3.問7	3	1.3	○										
5	現代文(随筆)	50	22.7					5.問1.a	2	1.6	○		
								5.問1.b	2	1.5	○		
								5.問1.c	2	1.8	○		
				5.問1.d	2	0.1	○						
				5.問1.e	2	1.6	○						
				5.問2.x	2	0.8	○						
				5.問2.y	2	1.1	○						
				5.問2.z	2	0.4	○						
				5.問3	4	3.2			○				
				5.問4	14	2.8			○				
				5.問5	6	3.9			○				
				5.問6	6	2.9			○				
				5.問7	4	1.0	○						

## 小問(単位問)別平均点 〈国語〉

現古漢

受験者数： 139457 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	現代文(評論)	50	23.5	1.問1.X	4	3.3		○					
				1.問1.Y	4	2.1		○					
				1.問2	14	4.3		○	○				
				1.問3	16	5.4		○	○				
				1.問4	12	8.4		○					
2	現代文(随筆)	50	21.4	2.問1.a	2	1.3	○						
				2.問1.b	2	1.1	○						
				2.問1.c	2	0.5	○						
				2.問1.d	2	1.2	○						
				2.問1.e	2	0.9	○						
				2.問2.x	2	1.0	○						
				2.問2.y	2	1.2	○						
				2.問2.z	2	1.1	○						
				2.問3	6	3.3		○					
				2.問4	16	3.3		○	○				
				2.問5	12	6.5		○					
				3	古文(日記)	50	17.4	3.問1.a	2	1.6	○		
								3.問1.b	2	1.4	○		
3.問2.1	4	1.5	○										
3.問2.4	4	0.4	○										
3.問3	6	4.0	○										
3.問4(1)	6	3.6						○	○				
3.問4(2)	9	0.7						○	○				
3.問5	6	0.1						○	○				
3.問6	8	2.8						○	○				
3.問7	3	1.3	○										
4	漢文(説話)	50	16.0	4.問1.イ	2	0.9	○						
				4.問1.ロ	2	0.3	○						
				4.問1.ハ	2	1.3	○						
				4.問2(i)	3	0.5		○					
				4.問2(ii)	3	0.3		○					
				4.問3	4	1.6		○					
				4.問4	8	2.4		○	○				
				4.問5	12	3.5		○					
				4.問6	7	2.2		○					
				4.問7	7	2.9		○					

### 小問(単位問)別平均点〈物理基礎〉

物理基礎 受験者数： 1545 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	等加速度直線運動	30	13.0	1.問1	2	1.6	○		
				1.問2	3	2.6	○		
				1.問3	3	1.3	○		
				1.問4	3	1.0	○		
				1.問5.t2	4	1.6		○	
				1.問5.x2	4	1.5		○	
				1.問6	4	0.0		○	
				1.問7	4	1.5		○	○
1.問8	3	1.9		○	○				
2	波の性質・定在波	20	9.8	2.問1.1振幅	2	1.5	○		
				2.問1.2波長	2	1.8	○		
				2.問2.1速さ	2	1.7	○		
				2.問2.2周期	2	1.5	○		
				2.問3	2	1.0	○		
				2.問4(ア)	1	0.4		○	
				2.問4(イ)	1	0.6		○	
				2.問4(ウ)	1	0.4		○	
				2.問5	3	0.3		○	
				2.問6	4	0.6		○	

### 小問(単位問)別平均点〈物理〉

物理 受験者数： 91102 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	円運動	33	9.1	1.問1.1大きさ	2	1.2	○						
				1.問1.2向き	1	0.7	○						
				1.問2	3	1.7	○						
				1.問3	3	1.4	○						
				1.問4	4	1.0	○						
				1.問5	4	0.7			○				
				1.問6(ア)	2	1.4		○					
				1.問6(イ)	3	0.5		○					
				1.問6(ウ)	3	0.1		○					
				1.問7	4	0.4		○					
				1.問8	4	0.1		○					
				2	気体の状態変化	33	13.0	2.問1	2	1.5	○		
								2.問2(ア)	2	1.2	○		
								2.問2(イ)	2	1.6	○		
								2.問2(ウ)	2	1.4	○		
								2.問2(エ)	2	1.0	○		
2.問2(オ)	2	0.9	○										
2.問3.1圧力	2	1.0	○										
2.問3.2温度	2	1.2	○										
2.問4.1仕事	2	1.1	○										
2.問4.2熱量	2	0.6	○										
2.問5.1温度	2	0.5							○				
2.問5.2圧力	2	0.5							○				
2.問6	2	0.3							○				
2.問7	2	0.2			○								
2.問8	3	0.0			○								
2.問9	2	0.0			○								
3	コンデンサー	34	12.5	3.問1.1電荷	3	2.0	○						
				3.問1.2静電	3	1.8	○						
				3.問2(ア)	3	2.1	○						
				3.問2(イ)	3	2.3	○						
				3.問3	4	1.2			○				
				3.問4	3	1.7	○						
				3.問5	3	0.3	○						
				3.問6	3	0.7			○				
				3.問7	3	0.4			○				
3.問8	3	0.1			○								
3.問9	3	0.0			○								

## 小問(単位問)別平均点 〈化学基礎〉

化学基礎 受験者数： 6205 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	化学結合の種類、反応と量的関係	25	12.3	1.問1.あ	2	1.6	○						
				1.問1.い	2	1.3	○						
				1.問1.う	2	1.3	○						
				1.問1.え	2	1.0	○						
				1.問2.1金属	2	1.9	○						
				1.問2.2イオン	2	1.6	○						
				1.問3(1)	2	0.8	○						
				1.問3(2)	2	0.7	○						
				1.問4(1)	2	0.6	○						
				1.問4(2)	2	0.9	○						
				1.問5	2	0.2	○						
				1.問6	3	0.4		○	○				
				2	酸化・還元、金属のイオン化傾向	25	7.6	2.問1	2	0.9	○		
								2.問2	3	1.2	○		
								2.問3	2	1.2	○		
								2.問4	4	1.9	○		
2.問5	3	0.2	○										
2.問6(1)	2	0.2	○										
2.問6(2)	3	0.0						○					
2.問7.A	2	0.8	○										
2.問7.C	2	0.9	○										
2.問8	2	0.1	○										

## 小問(単位問)別平均点 〈化学〉

化学 受験者数： 113349 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	ハロゲン、化学反応とエネルギー	26	13.7	1.問1.あ	1	0.9	○						
				1.問1.い	2	0.7	○						
				1.問2.1名称	1	0.6	○						
				1.問2.2色	1	0.7	○						
				1.問3	2	1.0	○						
				1.問4(1)	2	0.8			○				
				1.問4(2)	2	1.5	○						
				1.問5	2	1.2	○						
				1.問6(1)	2	1.4	○						
				1.問6(2)	3	1.2		○					
				1.問7(1)	2	1.2	○						
				1.問7(2)	3	1.9		○					
				1.問7(3)	3	0.7		○					
				2	有機化学	27	11.6	2.問1	2	1.2	○		
								2.問2	2	0.9	○		
								2.問3	2	0.8	○		
2.問4(1)	2	1.4	○										
2.問4(2)	2	0.6						○					
2.問5	2	0.9	○										
2.問6.イ	1	0.7	○										
2.問6.ウ	1	0.7	○										
2.問6.エ	1	0.7	○										
2.問7	2	1.1						○					
2.問8.B	3	0.9						○					
2.問8.F	2	0.6						○					
2.問9	2	0.6						○					
2.問10	3	0.6						○					
3	気体、蒸気圧、気体の溶解度	26	11.0	3.問1	3	2.0	○						
				3.問2	3	2.3	○						
				3.問3(1)	3	1.8		○	○				
				3.問3(2)	3	1.3		○					
				3.問4.1容積	3	0.8		○					
				3.問4.2圧力	3	0.4		○					
				3.問5	2	1.3	○						
				3.問6(1)	3	1.0	○						
3.問6(2)	3	0.1		○									
4	電離平衡	21	6.1	4.問1.あ	1	0.8	○						
				4.問1.い	1	0.8	○						
				4.問1.う	2	1.0	○						
				4.問2.え	3	1.8	○						
				4.問2.お	3	0.7	○						
				4.問3	2	0.5	○						
4.問4	3	0.3	○										
4.問5	3	0.1		○									
4.問6	3	0.0		○									

小問(単位問)別平均点 〈生物基礎〉

生物基礎 受験者数： 7432 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	DNAの構造と複製のしくみ	17	6.6	1.問1(1)	2	1.4	○						
				1.問1(2)1	1	0.4	○						
				1.問1(2)2	1	0.5	○						
				1.問2	2	1.7	○						
				1.問3(1)	1	0.4	○						
				1.問3(2)	2	0.9	○						
				1.問4	3	0.5		○					
				1.問5(1)	2	0.5		○					
				1.問5(2)	3	0.3		○					
				2	ヒトの中枢神経系と末梢神経系	16	6.4	2.問1.1	2	1.5	○		
								2.問1.2	2	0.3	○		
2.問2(1)	2	0.5	○										
2.問2(2)	2	0.4	○										
2.問2(3)	2	0.3	○										
2.問3	3	1.6						○	○				
2.問4(1)	1	0.6						○					
2.問4(2)	1	0.6						○					
3	日本のバイオームの垂直分布	17	6.5	3.問1.1	2	0.7	○						
				3.問1.2	2	0.9	○						
				3.問2	2	0.8	○						
				3.問3(1)	2	1.1	○						
				3.問3(2)	1	0.5	○						
				3.問4(1)	2	1.2	○						
				3.問4(2)	3	0.6			○				
				3.問4(3)	3	0.7		○					

小問(単位問)別平均点 〈生物〉

生物 受験者数： 32301 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	光合成のしくみ	25	8.7	1.問1.1	1	0.8	○						
				1.問1.2	1	0.4	○						
				1.問1.3	1	0.4	○						
				1.問1.4	1	0.6	○						
				1.問1.5	1	0.6	○						
				1.問2	4	1.5	○						
				1.問3	4	1.3			○				
				1.問4(1)i	1	0.3	○						
				1.問4(1)ii	1	0.4	○						
				1.問4(2)	2	0.9		○					
				1.問5	1	0.6		○					
				1.問6(1)	2	0.9	○						
				1.問6(2)	5	0.2		○	○				
				2	遺伝子発現、選択的スプライシング	25	9.6	2.問1.1	2	0.6	○		
								2.問1.2	2	1.0	○		
								2.問1.3	2	1.2	○		
								2.問2	4	1.8	○		
								2.問3	3	1.0			○
								2.問4(1)	2	0.7		○	
								2.問4(2)	3	0.5			○
								2.問5.1	1	0.7		○	
2.問5.2	1	0.7						○					
2.問5.3	1	0.4						○					
2.問5.4	1	0.3						○					
2.問6	3	0.7						○					
3	自律神経系、内分泌系	25	8.4					3.問1.1	2	0.7	○		
								3.問1.2	2	1.4	○		
								3.問1.3	2	0.3	○		
				3.問2	2	1.2	○						
				3.問3	4	0.4			○				
				3.問4	2	0.7	○						
				3.問5	1	0.9	○						
				3.問6	2	1.1		○					
				3.問7	2	0.8		○					
				3.問8(1)	2	0.6	○						
				3.問8(2)	4	0.4		○	○				
				4	遺伝子頻度、遺伝	25	9.3	4.問1	2	1.3	○		
								4.問2	2	1.6	○		
								4.問3(1)	2	0.7		○	
4.問3(2)	2	0.2						○					
4.問3(3)	3	0.9						○	○				
4.問4	2	1.1	○										
4.問5	1	0.3						○					
4.問6.3	2	0.6	○										
4.問6.4	2	0.9	○										
4.問7.5	1	0.4						○					
4.問7.6-7	2	1.1						○					
4.問8	2	0.3						○					
4.問9	2	0.0						○					

## 小問(単位問)別平均点〈地学基礎〉

地学基礎 受験者数： 1512 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	地球の内部構造	16	7.6	1.問1.1	2	1.6	○		
				1.問1.2	2	1.1	○		
				1.問2(1)	1	0.5		○	
				1.問2(2)	1	0.2		○	
				1.問2(3)	1	0.4		○	
				1.問3	2	0.8		○	○
				1.問4	3	0.1		○	○
				1.問5	2	1.5		○	
				1.問6	2	1.5		○	
				2	柱状図と地球環境	17	6.0	2.問1.1	2
2.問1.2	2	1.1	○						
2.問2.1種類	1	0.2						○	
2.問2.2根拠	3	0.2						○	○
2.問3	2	0.3						○	○
2.問4	2	1.2	○						
2.問5	1	0.4	○						
2.問6	2	0.2							○
2.問7	2	1.1							○
3	日本の天気	9	3.3					3.問1.1	1
				3.問1.2	1	0.4	○		
				3.問2(1)	1	0.5	○		
				3.問2(2)	1	0.6	○		
				3.問3	2	0.7		○	
				3.問4	3	0.5			○
				4	太陽	8	2.3	4.問1.1	1
4.問1.2	1	0.5	○						
4.問2	2	1.1	○						
4.問3	2	0.4							○
4.問4	2	0.1						○	○

## 小問(単位問)別平均点〈地学〉

地学 受験者数： 300 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	プレートの運動と地震	20	8.7	1.問1	2	0.9	○						
				1.問2	3	0.5		○					
				1.問3(1)	2	0.9		○					
				1.問3(2)	2	0.7		○					
				1.問3(3)	3	0.8		○					
				1.問4	3	1.7		○					
				1.問5	2	1.6	○						
				1.問6	3	1.8	○						
				2	地表の変化と堆積岩	20	10.7	2.問1	3	1.9	○		
								2.問2(1)	2	1.3	○		
								2.問2(2)1	2	1.0		○	
								2.問2(2)2	2	1.2		○	
								2.問3	2	1.7	○		
								2.問4	3	0.3		○	○
								2.問5	2	1.0	○		
								2.問6(1)	2	1.3	○		
2.問6(2)	2	0.9	○										
3	地質図と新生代第四紀の気候変動	20	6.8					3.問1	3	1.1	○		
								3.問2.1走向	2	1.0		○	
								3.問2.2傾斜	1	0.3		○	
				3.問3	2	0.9		○					
				3.問4	3	0.7		○					
				3.問5.1	2	0.4	○						
				3.問5.2	2	0.5	○						
				3.問6(1)	2	0.8		○					
				3.問6(2)	3	1.0		○					
				4	大気の大循環と海洋	20	7.5	4.問1.1	2	0.9	○		
4.問1.2	2	1.0	○										
4.問2.1	1	0.4						○					
4.問2.2	1	0.4						○					
4.問3	2	0.8	○										
4.問4.6	1	0.5	○										
4.問4.7	2	0.8	○										
4.問5	3	1.1							○				
4.問6	2	0.5	○										
4.問7	2	0.3						○					
4.問8	2	0.9						○					
5	地球の公転と恒星の性質	20	5.5					5.問1	2	0.8	○		
				5.問2(1)	2	1.1		○					
				5.問2(2)	3	0.4		○					
				5.問2(3)	3	0.8		○	○				
				5.問3	2	0.5	○						
				5.問4	3	1.1		○					
				5.問5(1)	2	0.7		○					
5.問5(2)	3	0.2		○									

小問(単位問)別平均点 〈世界史〉

世界史 受験者数： 41697 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	ドイツとロシアの歴史	26	11.4	1.1	1	0.5	○						
				1.2	1	0.6	○						
				1.3	1	0.5	○						
				1.4	1	0.3	○						
				1.5	1	0.4	○						
				1.6	1	0.3	○						
				1.問1	2	0.9		○					
				1.問2	2	1.2		○					
				1.問3	2	0.4	○						
				1.問4	2	1.1		○					
				1.問5	2	1.2		○					
				1.問6	2	0.9	○						
				1.問7	2	0.5		○	○				
				1.問8	2	0.4	○						
				1.問9	2	1.3	○						
				1.問10	2	0.9	○						
				2	衣類とファッションの歴史	24	9.3	2.1	1	0.9	○		
2.2	1	0.2	○										
2.3	1	0.6	○										
2.4	1	0.1	○										
2.5	1	0.6	○										
2.6	1	0.2	○										
2.問1	2	1.2						○					
2.問2	2	1.5						○					
2.問3	2	0.3	○										
2.問4	2	0.5						○					
2.問5	2	0.8	○										
2.問6	2	1.2						○					
2.問7	2	0.6						○					
2.問8	2	0.2						○					
2.問9	2	0.4						○					
3	宗教・思想と政治・社会の関係	24	9.8					3.1	1	0.1	○		
								3.2	1	0.4	○		
				3.3	1	0.4	○						
				3.4	1	0.5	○						
				3.5	1	0.7	○						
				3.6	1	0.7	○						
				3.7	1	0.8	○						
				3.8	1	0.1	○						
				3.問1	2	0.5	○						
				3.問2	2	0.8		○					
				3.問3	2	0.9	○						
				3.問4	2	1.1		○					
				3.問5	2	0.9		○					
				3.問6	2	0.4	○						
				3.問7	2	0.7	○						
				3.問8	2	0.8		○					

小問(単位問)別平均点 〈世界史〉

世界史

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
4	金・銀の流通と国家	26	8.9	4.1	1	0.4	○		
				4.2	1	0.4	○		
				4.3	1	0.4	○		
				4.4	1	0.4	○		
				4.5	1	0.2	○		
				4.6	1	0.4	○		
				4.7	1	0.3	○		
				4.8	1	0.5	○		
				4.9	1	0.2	○		
				4.問1	2	0.3	○		
				4.問2	2	1.3		○	
				4.問3	2	0.6		○	
				4.問4	2	0.7		○	
				4.問5	2	0.7		○	
				4.問6	2	1.0	○		
				4.問7	2	0.6		○	
				4.問8	3	0.5		○	○

## 小問(単位問)別平均点〈日本史〉

日本史

受験者数： 62662 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	古代・中世初期における国家と仏教	30	11.3	1.問1	2	0.6	○		
				1.問2	2	1.4		○	
				1.問3	2	0.5	○		
				1.問4	2	1.0	○		
				1.問5	2	0.1		○	
				1.問6	2	0.3	○		
				1.問7	2	1.2	○		
				1.問8	2	0.5	○		
				1.問9	2	1.1	○		
				1.問10	2	0.5	○		
				1.問11	2	0.8	○		
				1.問12	2	0.6	○		
				1.問13	2	1.1	○		
				1.問14	2	0.5	○		
				1.問15	2	0.9	○		
2	硫黄の交易にみる日本と大陸の関係	20	7.9	2.問1	2	0.6	○		
				2.問2	2	1.5	○		
				2.問3	2	1.2	○		
				2.問4	2	1.0	○		
				2.問5	2	0.7	○		
				2.問6	2	0.5	○		
				2.問7	4	1.1		○	○
				2.問8	2	0.5	○		
				2.問9	2	0.9		○	
3	自力救済と中世の社会	20	6.0	3.問1	2	0.9		○	
				3.問2	2	1.0	○		
				3.問3	2	0.3	○		
				3.問4	2	0.5	○		
				3.問5	2	0.2	○		
				3.問6	2	0.5	○		
				3.問7	2	0.8		○	
				3.問8	2	0.7	○		
				3.問9(あ)	2	0.5	○		
3.問9(い)	2	0.6	○						
4	江戸時代の幕政の展開	30	11.0	4.問1	2	1.3		○	
				4.問2	2	1.0		○	
				4.問3	2	0.5		○	
				4.問4	2	0.6		○	
				4.問5	2	0.5		○	
				4.問6	2	0.8		○	
				4.問7	2	0.7		○	
				4.問8	2	0.9		○	
				4.問9	2	1.1		○	
				4.問10	2	0.3		○	
				4.問11	2	0.2		○	
				4.問12	2	0.9		○	
				4.問13	2	1.1		○	
				4.問14	2	0.4	○		
				4.問15	2	0.6		○	

小問(単位問)別平均点 〈地理〉

地 理 受験者数： 12725 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	世界の地形と地形図の読図	25	9.6	1.問1(1)	1	0.6	○						
				1.問1(2)A	2	1.0	○						
				1.問1(2)B	2	0.9	○						
				1.問2.a	1	0.8	○						
				1.問2.1	2	0.5	○						
				1.問2.2	2	1.1		○					
				1.問3(1)	1	0.8		○					
				1.問3(2)	3	1.3			○				
				1.問4(1)	2	0.6	○						
				1.問4(2)	2	0.2	○						
				1.問4(3)	2	0.2		○					
				1.問4(4)	3	0.1		○					
				1.問4(5)サ	1	0.7		○					
				1.問4(5)シ	1	0.7		○					
				2	世界の農牧業	25	8.9	2.問1.1	2	0.6	○		
								2.問1.2	2	0.5	○		
								2.問1.3	2	0.9	○		
2.問1.4	2	0.4	○										
2.問2.ア	1	0.5	○										
2.問2.イ	1	0.6	○										
2.問3.x	2	0.7	○										
2.問3.y	2	0.1	○										
2.問4	2	0.8	○										
2.問5(1)	1	0.4						○					
2.問5(2)	1	0.5						○					
2.問6.サ	2	1.1	○										
2.問6.シ	2	0.7	○										
2.問7	3	1.2							○				
3	交通・通信、貿易、観光	25	8.7					3.問1.1	2	0.9	○		
								3.問1.2	2	0.8	○		
								3.問1.3	2	0.2	○		
				3.問1.4	2	0.1	○						
				3.問2(1)	1	0.7		○					
				3.問2(2)	1	0.5		○					
				3.問2(3)	1	0.6		○					
				3.問3	2	1.0		○					
				3.問4(1)	2	0.8	○						
				3.問4(2)	2	0.2	○						
				3.問4(3)	2	0.8	○						
				3.問5	2	1.2	○						
				3.問6(1)i	1	0.3		○					
				3.問6(1)ii	1	0.3		○					
				3.問6(2)	2	0.2			○				

小問(単位問)別平均点 〈地理〉

地 理

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
4	東南アジア・南アジア	25	8.6	4.問1(1)x	1	0.3	○		
				4.問1(1)y	1	0.4	○		
				4.問1(2)A	1	0.5	○		
				4.問1(2)B	1	0.6	○		
				4.問1(2)C	1	0.4	○		
				4.問1(3)q	1	0.3			○
				4.問1(3)r	1	0.5			○
				4.問1(3)s	1	0.3			○
				4.問2(1)	1	0.3			○
				4.問2(2)	1	0.5			○
				4.問3.D	1	0.4			○
				4.問3.J	1	0.1			○
				4.問4(1)	1	0.6			○
				4.問4(2)	2	0.6			○
				4.問4(3)	2	0.6			○
				4.問5(1)1	2	0.7			○
				4.問5(1)2	2	1.1			○
				4.問5(2)	2	0.5			○
				4.問5(3)	2	0.1			○

## 小問(単位問)別平均点〈倫理〉

倫 理 受験者数： 4526 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	現代社会における倫理	24	9.1	1.問1(1)	2	0.5	○		
				1.問1(2)	1	0.4	○		
				1.問2(1)	2	0.9	○		
				1.問2(2)	1	0.1	○		
				1.問3	2	0.8	○		
				1.問4	2	0.4	○		
				1.問5	2	0.7	○		
				1.問6	2	0.5	○		
				1.問7	2	0.4	○		
				1.問8(1)	2	1.5	○		
1.問8(2)	2	1.7		○					
1.問9	2	0.1	○						
1.問10	2	1.1		○					
2	西洋の源流思想	26	10.3	2.問1.1	2	0.8	○		
				2.問1.2	2	0.6	○		
				2.問2	1	0.8	○		
				2.問3	2	0.5			○
				2.問4(1)	2	0.6	○		
				2.問4(2)	2	1.3	○		
				2.問5(1)	2	1.0	○		
				2.問5(2)	1	0.5	○		
				2.問6	2	0.9	○		
				2.問7(1)	2	1.1	○		
				2.問7(2)	2	0.7	○		
				2.問8	2	0.4	○		
				2.問9(1)	2	0.6	○		
2.問9(2)	2	0.5		○					
3	江戸時代の思想	26	6.3	3.問1	2	0.2	○		
				3.問2	2	1.0	○		
				3.問3	2	0.2	○		
				3.問4	2	0.6	○		
				3.問5	2	0.2	○		
				3.問6	1	0.3	○		
				3.問7	2	1.1		○	
				3.問8	2	0.2	○		
				3.問9.3	2	0.1	○		
				3.問9.4	2	0.0	○		
				3.問10	1	0.3	○		
				3.問11	2	0.7	○		
				3.問12(1)	1	0.8		○	
3.問12(2)	1	0.0	○						
3.問13	2	0.5	○						

## 小問(単位問)別平均点〈倫理〉

倫 理

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
4	市民社会の倫理	24	6.8	4.問1(1)	2	1.1		○	
				4.問1(2)	1	0.1	○		
				4.問2	2	0.8	○		
				4.問3(1)	2	0.1			○
				4.問3(2)	1	0.1	○		
				4.問4	2	1.5	○		
				4.問5	2	1.2		○	
				4.問6(1)	2	0.5	○		
4.問6(2)	2	0.8	○						
4.問7.3	2	0.4	○						
4.問7.4	2	0.1	○						
4.問7.5	2	0.1	○						
4.問8	2	0.1	○						

小問(単位問)別平均点 (政治経済)

政治経済 受験者数： 31574 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	日本国憲法の人権保障	20	7.5	1.問1.1	1	0.3	○						
				1.問1.2	1	0.3	○						
				1.問1.3	1	0.2	○						
				1.問2	2	0.1	○						
				1.問3(1)	1	0.6	○						
				1.問3(2)	2	1.0	○						
				1.問4(1)	2	0.9	○						
				1.問4(2)	2	1.0	○						
				1.問5(1)	2	0.9	○						
				1.問5(2)	1	0.4	○						
				1.問6	2	0.4	○						
				1.問7(1)	1	0.5	○						
				1.問7(2)	2	0.9		○					
				2	現代日本の政治過程	20	5.9	2.問1.1	2	0.4	○		
								2.問1.2	2	0.3	○		
								2.問2(1)	1	0.2	○		
								2.問2(2)	1	0.6	○		
2.問3	2	0.3	○										
2.問4	2	0.6	○										
2.問5(1)	1	0.5	○										
2.問5(2)	1	0.1	○										
2.問6	2	1.7	○										
2.問7(1)	2	0.8	○										
2.問7(2)	2	0.3		○									
2.問8	2	0.1			○								
3	日本経済の課題・産業構造の変化	20	6.8	3.問1.1	2	0.3	○						
				3.問1.2	2	1.2	○						
				3.問1.3	2	1.2	○						
				3.問1.4	2	0.3	○						
				3.問2	2	0.9	○						
				3.問3	1	0.5	○						
				3.問4(1)	1	0.1	○						
				3.問4(2)	1	0.1	○						
				3.問5	1	0.0	○						
				3.問6	2	0.1	○						
				3.問7	1	0.3		○					
3.問8	1	0.3		○									
3.問9	2	1.4	○										
4	国民所得, 中小企業・農業問題	20	5.5	4.問1.1	1	0.1	○						
				4.問1.2	1	0.1	○						
				4.問2.a	1	0.0		○					
				4.問2.b	1	0.0		○					
				4.問3	2	0.9	○						
				4.問4	2	1.5		○					
				4.問5.3	1	0.1	○						
				4.問5.4	1	0.1	○						
				4.問6	2	1.1		○					
				4.問7	2	0.2	○						
4.問8	2	0.1	○										
4.問9	2	0.2	○										
4.問10	2	1.0	○										

小問(単位問)別平均点 (政治経済)

政治経済

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
5	国民生活の諸課題	20	7.0	5.問1.1	1	0.1	○		
				5.問1.2	1	0.1	○		
				5.問2(1)	2	0.3	○		
				5.問2(2)	1	0.1	○		
				5.問3	2	1.6	○		
				5.問4	2	1.1	○		
				5.問5	2	0.8	○		
				5.問6	2	0.9	○		
				5.問7	1	0.3	○		
5.問8(1)	2	0.2	○						
5.問8(2)	2	0.8	○						
5.問9	2	0.8			○				

# 数 学

## 【数学 I 型】

式の特徴を掴み、式変形を利用して計算しよう！

### ① 小問集合(1)数と式

根号を含む値  $x$  に対して、与えられた  $x$  の式の値を求める問題

(1)は  $x = \frac{3-\sqrt{5}}{2}$  のとき、 $x + \frac{1}{x}$ 、 $x^2 + \frac{1}{x^2}$ 、 $x^4 - \frac{1}{x^4}$  の値を求める問題である。(i)から決して出来がよかったとは言いがたく、計算ミスが目立った。(ii)、(iii)についても各設問の関連を考えず単独の問題として計算し、間違えている答案が多かった。設問の繋がりも意識して上手に計算することを考えてほしい。

以下、個々の設問について細かく見ていこう。

(i)は  $x + \frac{1}{x}$  の値を求めるのだが、 $x$  の値を直接代入し、通分して計算ミスをしている答案が散見された。分母に根号を含む値を計算する場合は、まず分母を有理化し、通分しやすい状態にしてから計算することを心掛けてほしい。また、 $x + \frac{1}{x}$  に  $x$  を掛けて、

$$x + \frac{1}{x} = x^2 + 1$$

として、式の値を計算している答案も散見された。これはもちろん間違いである。「方程式を解くとき」に両辺にある数を掛けることは問題ないが、単なる式変形においてある数を掛けると、その意味は元の式と異なる。仮に、上の式変形が許されるなら、

$$2 + \frac{1}{2} = 2^2 + 1$$


などになってしまう。方程式の処理なのか、そうでないのかを区別して正しく計算できるようにしよう。

(ii)は  $x^2 + \frac{1}{x^2}$  の値、(iii)は  $x^4 - \frac{1}{x^4}$  の値を求めるのだが、(i)と同様に  $x$  の値を直接代入し、通分して計算ミスをしている答案が目立った。複雑な式の値を計算するときは、すぐに値を代入せず、まず計算が簡単になる形に式を変形してから代入することを心掛けよう。その式変形に気付くことが入試に必要な計算力である。

入試において、難問が解けることは素晴らしいことであるが、最も大切なことは基本的な部分でミスをしないことである。計算ミスをした部分については必ず確認をし、同じようなミスを繰り返さないように確かな計算力を身につけよう。

# 学 習 対 策

ここでは、教科・科目ごとにポイントとなる問題を取り上げ、その問題の概要と正解を導くために必要な力についてコメントをしています。今後の学習のアドバイス等も記してありますので、自分が受験した教科・科目を確認して復習に役立てましょう。

なお、設問別アドバイス、採点基準、学力要素一覧表は  **模試ナビ** 河合塾 全統模試 学習ナビゲーター に掲載していますので、確認してください。

# 英 語

文の構造を正確に把握し、答案に反映させよう！

## 第4問 長文読解問題

根拠箇所を見つけ、正確に説明する問題

問5は説明問題である。下線部の What interested Dorothea in particular 「ドロシアの興味を特に強く惹きつけたもの」の内容は、直後の what is known as the 'island rule' 「『島の法則』として知られるもの」で表されている。ここを根拠にした答案も少なからず見られた。しかし、この箇所は根拠として不十分である。なぜなら、その直後に「島の法則」のより具体的な内容が続いており、そこを解答の根拠とすべきだからだ。今回、根拠の箇所を間違えてしまった人は、根拠の箇所を探す際の視野をもう少し広げる癖をつけたい。また、書くべき根拠の箇所がわかっているにもかかわらず、while の訳出を誤って「…ので」などとした結果、全体の趣旨を損なうものとして大きく失点した答案もあった。根拠の箇所を見つけた後は、その箇所を丁寧に精読してほしい。本問は典型的な説明問題である。この手の問題があまり得意でない人は、解答に至る「思考プロセス」を、日ごろから問題演習の際に段階を踏んで確認する習慣をつけるとよい。

節のはたらきを意識しよう！

## 第5問 長文読解問題

文構造の正確な理解をもとに、和訳する問題

問6では第一に、形式主語構文が理解できているかがポイントとなった。多くの受験生が正確に訳せていたが、一部の答案では形式主語構文であることを見抜けず「それは…」と訳していた。周りができている箇所での構文の取り違えは、本番の試験で致命的なミスとなりかねないため、注意したい。次に、whether 以下の構造の把握が差のつくポイントとなった。whether ... or ~には「…か、～か」という名詞節としての意味と、「…であれ、～であれ」という副詞節としての意味がある。本問では whether 節が to learn の目的語、つまり名詞のはたらきをしていることから、名詞節として処理すべきである。にもかかわらず、このような文の構造を無視して副詞節として訳出する答案も散見された。近年の大学入試の和訳問題において、文構造の把握は最も差がつかうポイントである。というのも、近年の大学入試問題では比較的基本的な文構造の理解を問う問題が多く、多くの受験生が文構造を正確に把握でき、ミスをするとき大きく差をつけられてしまうからだ。今回、文構造の把握でミスをした人は、SV や句・節の把握、修飾関係の確認といった精読の練習を中心に、秋の勉強を進めてほしい。

# 国 語

## 【数学Ⅱ型】

直線，放物線の位置関係に着目しよう！

### ② 微積分総合

放物線や直線で囲まれる図形の面積を求める問題

本問は，2つの曲線

$$C_1: y=f(x)=\frac{1}{2}x^2-3x+k, \quad C_2: y=g(x)=-x^2+3$$

や直線などで囲まれる図形の面積を考える問題である。その前に(1)で $C_1$ と $C_2$ の位置関係の条件から共有点の $x$ 座標 $t$ の値と $k$ の値を求める必要があるが，この部分の出来が予想以上に悪かった。ここを突破しなければ以降の面積の計算ができなくなるため，全体の得点に大きく差がつくことになった。本問のように， $x$ 座標が $t$ である点を共有し，その点における接線が一致する条件は，

$$f(t)=g(t) \quad \text{かつ} \quad f'(t)=g'(t) \quad \dots(*)$$

であるから，これより得られる連立方程式を解くことで $t, k$ の値を求めることができる。今回は $C_1$ と $C_2$ がどちらも放物線であるから， $y$ を消去して得られる $x$ の2次方程式が重解をもつ条件，すなわち(判別式) $=0$ により解答することもでき，この解法で解答していた答案も多くみられた。(\*)の考え方は与えられた曲線が放物線だけでなく(例えば3次曲線などでも)用いることができ，応用範囲が広いため，この機会にぜひ身につけてほしい。

(1)を突破した答案では，(2)，(3)(i)の部分は比較的よくできていた。しかし，最後の $C_1$ と $l$ で囲まれる図形の面積を求める部分は出来が悪かった。方程式 $f(x)=h(x)$ を解くことで， $C_1$ と $l$ の交点のうち， $P$ とは異なる点の $x$ 座標は $\frac{13}{3}$ と求まるため，求める面積 $S_3$ は

$$\int_1^{\frac{13}{3}} \{h(x)-f(x)\}dx = \int_1^{\frac{13}{3}} \left\{ \left( -\frac{1}{3}x + \frac{7}{3} \right) - \left( \frac{1}{2}x^2 - 3x + \frac{9}{2} \right) \right\} dx$$

を計算するだけではあるが，この計算に正面から挑むのは少々大変である。そこで，「学習の手引き」の【解答】では，

$$h(x)-f(x) = -\frac{1}{2}(x-1)\left(x-\frac{13}{3}\right)$$

と因数分解できることに着目し，

$$S_3 = \int_1^{\frac{13}{3}} \left\{ -\frac{1}{2}(x-1)\left(x-\frac{13}{3}\right) \right\} dx = -\frac{1}{2} \cdot \left(-\frac{1}{6}\right) \left(\frac{13}{3}-1\right)^3$$

と計算した。この部分を正しく計算できたか否かで大きく得点差がついた。「 $\frac{1}{6}$ 公式」は入試問題においても用いる頻度が非常に高い公式であるから，しっかりと使いこなせるようにしておこう。

## 【数学Ⅲ型】

基本概念をしっかりと定着させ，応用力を養おう！

### ④ 微分法

極値を2つもつ条件を考察し，極限を求める問題

本問は，関数が極値を2つもつ条件を導関数の符号に着目して考察し，2つの極値に関連する極限を求める問題である。グラフの概形，極値などの微分法における基本概念がしっかりと定着していれば，ある程度の得点が期待できる。実際白紙の答案は少なかったが，得点に結びついているかという観点で見るとかなりの差のついた問題である。

以下，個々の設問について細かく見ていこう。

(1) 関数の最大値を求める設問であり， $y$ の増減を調べて最大値を求めればよい。多くの答案で $y'$ を計算しており，関数の増減を調べるには導関数が重要であることは理解できていると思われる。しかし， $y'$ を求める際に，商の微分法や合成関数の微分法が正しく習得できていない答案が一部みられた。前半の設問でのミスが以降の設問の得点に大きく影響することも多いので，慎重になろう。

(2) (i)  $f(x)=\log x - a\sqrt{2x-1}$ が極値を2つもつ $a$ の条件を考察する設問である。出来に大きな差がみられた。

$f'(x)$ は正しく求まっても，極値をもつ条件についての理解が十分であるとは言えない答案が目立った。導関数 $f'(x)$ が連続である関数 $f(x)$ において， $x=\alpha$ で極値をとる条件は

「 $f'(x)$ が $x=\alpha$ の前後で符号を変化させること」

であるから， $f(x)$ が極値を2つもつ条件は

「その前後で $f'(x)$ の符号が変化する $x$ が2つ存在すること」

であり， $f'(x)$ の符号を考察するために(1)で与えられた関数のグラフを用いることが本問のポイントとなる。極値についての基本概念をしっかりと定着させ，誘導にのれるようにしておこう。

(ii) 2つの極値に関連する極限を求める設問である。 $\alpha, \beta$ を直接求め，極限を計算しようとしている答案が多くみられたが，「学習の手引き」の別解にあるようにこの解法では計算がかなり煩雑になる。ここでは，与式を平均変化率 $\frac{f(\beta)-f(\alpha)}{\beta-\alpha}$ を用いた形に変形し，平均値の定理

$$\frac{f(\beta)-f(\alpha)}{\beta-\alpha} = f'(c), \quad \alpha < c < \beta$$

を用いて考察するのが得策である。教科書に載っている定理や公式がどのような状況で有益になるかについて確認しておこう。

## 【現代文】

設問の要求に的確にこたえよう

### 第一問 問二

傍線部に関わる「変化」を説明する問題

設問は，「中世から近世まで『怪異に関する情報』の伝達の仕方はいかに変化したか」を問うており，「『怪異に関する情報』の伝達の仕方」が「中世」ではどうだったのか(採点基準 a)，「近世」になってどうなったのか(採点基準 b・c)をそれぞれ説明することになる。その際，「『怪異に関する情報』の伝達の仕方」という表現は設問で明らかなので答案で省略できるが，それは無視してよいということではない。答案では，傍線部直後の「『音声の世界』が社会に大きな広がりをもっていた」，「文字文化が広がり」，「音声の世界から視覚優位の文化に」を抜き書きしたものが多かった。これらは「伝達の仕方」の〈背景〉であって，「伝達の仕方」自体の説明ではない。設問で問われている「伝達の仕方」の「変化」をもれなく説明することを優先しよう。また，設問に「本文全体を踏まえて」とあるので，傍線部の前後だけでなく，問われている内容を念頭に置いて「本文全体」を見渡す必要があった。第十二段落の「近世」における「変化」(bからcへ)も答案に含めなければならないが，それに気づいていても，「最初」を「中世」だと誤読し，「現象についての記述」を「中世」とした答案が目立った。本問は，入試でも頻出の〈変化〉の説明問題である。こうした設問で確実に得点できるよう，本文の論理的な読解に加えて，設問の要求の正確な把握にも努めてほしい。

## 【古文】

解答根拠となる箇所を見つけ，正確に理解して説明しよう

### 第三問 問四(2)

傍線部に描かれた行動の理由を説明する問題

作者が夫に何も伝えずに転居した理由を説明する。解答の根拠となるのは，本文5～6行目①『聞こえさすべきこと』とものしたれど，②『つつむことありてなむ』とてつれもなければ，③なにかはとてである。まず，重要古語(傍線部)と接続助詞など(太字)に注意しながら，文構造を確認すると，①『申し上げるべきこと』とものし

たれけれども、②『物忌みありてなむ』と言って素っ気ないので、③「どうして〜か、いや、ないと思って」となる。接続助詞「て」の前後では、主語は同じであることが多いので、③の主体は、「音もせで渡りぬ」と同じ作者だと考える。作者が③のように思った理由が②であり、②は①の行為に対する反応である。よって、作者が夫に「申し上げるべきこと(がある)」と言ったけれども①、夫は「物忌みがあって(話は聞けない・そちらには行けない)」と言って素っ気ないので②、作者はどうして(知らせよう)か、いや、(知らせてもしたか)がないと思って③、「音もせで渡りぬ」という行動をとったのである。動詞「ものし」の具体化や、省略されている部分の補いが必要にはなるもの、文構造を正しくとらえることができれば、およその流れは確認できるであろう。解答は、人物関係を明確にし、①・②・③のポイントとなる要素に抜けがないようにまとめていくとよい。

#### 【漢文】

現代語訳は、基本句形に基づいて、文脈から指示語の指示内容や省略された内容を補って作成しよう

#### 第四問 問四

##### 現代語訳の問題

傍線部は、病気が治らない「嗜火酒者」に対して「其親者」が発した助言である。まず、基本句形を把握しよう。再読文字「盍(なんぞ——ざる)」は、「どうして——しないのか・——してはどうか」と訳す。「——しないのか、いや、する」のように反語で訳したもの、「——しなかったのか」のように過去形で訳したものが散見された。「使」は、本来「使A□(Aをして□しむ)」で、「Aに□させる」の意味を表す使役形であるが、ここでは使役の対象Aが省略されている。「治」は「治療する」の意味。以上を踏まえて直訳すると、「どうして『これ』を治療させないのですか」となる。次に、「之」の指示内容と省略された使役の対象Aを検討しよう。傍線部の直前の一文「某既に能く先に子の疾むを知れば、必ず能く子を療さん」に注目する。この「子」は二人称代名詞「あなた」なので、「何を」治療するのか(「之」の指示内容)は、「あなたの病氣」、「誰に」治療させるのか(使役の対象A)は、病氣になることを予見できた「某(=あなたの友人)」となる。指示語のまま「これ」と訳したもの、「あなたの」を欠き単に「病氣」と補ったものが散見された。使役の対象「友人に」を補えたものは非常に少なかった。現代語訳では、指示語の指示内容や省略された内容を補って訳出するよう心がけたい。

## 理 科

#### 【物理基礎】

#### 2 物体の相対運動を捉えられるようになる

#### 第1問 問5, 6

##### 2 物体がすれ違う位置を等加速度直線運動の式を用いて表す問題

物体Pと物体Rがすれ違う時刻はそれぞれの物体の位置が等しくなればよい。等加速度直線運動の式を用いて物体Rの位置は、 $x_R = -\frac{1}{2}v_0t + x_1$ と表すことができるが、初期位置である $x_1$ を書き忘れる受験生が多いので注意しよう。物体Pと物体Rがすれ違う時刻なので、PとRのそれぞれの位置である $x_P$ 、 $x_R$ が等しいとすればよい。物体が等加速度直線運動をしてある位置に達したときの時刻を求める問題では、計算過程で解の公式を用いなければいけない場合もある。計算過程で2次方程式が出てきたときにも計算を実行できる数学力を鍛えておいてほしい。また、指定文字にも注意を払おう。問1、問3で求めた答えを利用して表すことはよくあることなので、前の設問で解答した数式などは余白などに丁寧に残しておき、いつでも利用できるようにしておこう。復習として、『学習の手引き』の問7のグラフを参考にして物体P、Q、Rを数式で表してみると、1次関数と2次関数が描かれているだけであり、すれ違う時刻を求めるにはそれぞれのグラフの交わる点を求めるだけである。物体の運動をグラフに表し、数学として考えれば簡単に捉えられる。別解として、『学習の手引き』に2物体の相対運動による解答が記載されている。この設問のように2物体が互いに異なる加速度や速度で運動するときには、相対運動を考えれば2物体の運動がシンプルに捉えられる。物体Rから物体Pの運動を考えると、Pが初速度 $\frac{3}{2}v_0$ の一定の速さで近づいてくることになる。両者は距離 $x_1$ だけ離れているので、求める時刻 $t_2$ は両者の距離 $x_1$ を相対速度の大きさ $\frac{3}{2}v_0$ で割れば簡単に求められる。

また、物体Qと物体Rの運動も、物体Rから見れば初速度が $\frac{1}{2}v_0$ で相対加速度が $a$ となり、QがRに向かって等加速度直線運動をしていることになる。両者の距離は $x_1$ だけ離れているので、求める時刻 $t_3$ は物体Rから見た物体Qの運動を等加速度直線運動の式で表せばよいだけである。2物体が異なる速度や加速度で運動する場合に相対運動を考えることを学習に取り入れていくとよいであろう。

#### 【物理】

状況を図に描きながら解いていくこと！

#### 第3問 問6～問9 コンデンサー

多重極板において、スイッチ操作、および誘電体の取り出し、挿入を繰り返す問題

大学入試の物理では、受験生としては初めて見る問題が多く出題される。そのため、問題文をていねいに読んで、問題の状況を正確に把握することが重要になる。しかし、状況が複雑になってくると、問題文を一度読んだだけで、すべての状況を記憶することは不可能である。そこで、問題の状況を図や表にまとめながら解いていくことになる。

今回の模試では、第2間で気体の状態変化を、第3間でコンデンサーを出題した。どちらも問題の状況の把握が重要になる。第2問では、各状態での気体の圧力、体積、温度を表や図にまとめながら解答しただろうか。第3問では、コンデンサーの電気容量、電圧(両端の電位差)、蓄えられている電荷(電気量)を回路図にまとめながら解答しただろうか。状況が順に変化していき、前の状況によって次の状況が変わるという設定であるため、途中で状況の把握を誤ると、それ以降の問題が正解できなくなる。

今回の問題では、問7以降で正答率が特に低くなった。問6までは電荷 $Q$ 、電気容量 $C$ 、電圧 $V$ のうちの2つが分かっているので、残りの1つは $Q=CV$ の関係式を用いれば求められる。これに対して、問7はその方法では正解できない。各部の電位を文字でおいて電荷保存則の式を立てるか、各コンデンサーの電荷を文字でおいて電荷保存則の式とキルヒホッフの第2法則の式を立てるかの、2通りの方法がある。これらの解法が身につけていないと、本番の大学入試では合格点に達しない可能性が高い。『学習の手引き』では2通りの解法で解答を作成してあるので、参考にしてもらいたい。また、問9では、操作を繰り返す問題を出題した。難易度は高いが、難関大受験生であれば正解してほしい問題であった。

物理の多くの問題では、状況が順に変化し、後半になるほど正答率が下がる。しかし、後半の問題だからといって特別な知識を必要とすることはほとんどなく、基本的な知識、解法で解くことができる。状況を図や表にまとめながら解いていくことを心掛けてほしい。

## 【化学基礎】

現象を理解し、考察する力を身に付けよう！

### 第1問 II問6 酸塩基反応と沈殿物の生成

水酸化バリウム水溶液を希硫酸で中和する際の、加えた希硫酸の体積と生じた硫酸バリウムの質量の関係をグラフに表す問題

変化する大学入試を突破するために身に付けなければならない学力要素に「思考力・判断力」と「表現力」がある。現段階で、これらの力がどの程度身に付いているかを確認するために出題した問題である。

入試では水溶液中のイオンの量の変化について考えさせる問題が出題されることがある。塩基の水溶液に酸の水溶液を加えていくことにより、水溶液中の $H^+$ が徐々に減少しながら中和点に到達し、中和点を超えると $OH^-$ が徐々に増加していく。水溶液中の電流はイオンの移動によるものであるから、水溶液に流れる電流を測定しながら滴定を行うと、中和点の前後で電流の値に変化が現れるという基本の理解が問われる。

今回の問題では、水酸化バリウム水溶液に希硫酸を滴下することで、硫酸バリウムの沈殿が生じるため、中和点では水溶液中にほとんどイオンが存在しなくなり、電流がほとんど流れなくなる。このことから図1のA点が中和点であることを判断する。思考の手順は、設問により誘導されており、問4(1)で中和点であるA点までの希硫酸の滴下量 $v$  [mL]を求めさせ、(2)でそのときの澄み液のpHを問うことで、水溶液中に存在するイオンの量に注目させている。また、問5で中和点を過ぎて希硫酸を加えても硫酸バリウムの沈殿が増加しないことを確認させたうえで、問6によりグラフを描かせている。

このように、グラフを描く問題を解く鍵は、グラフを描くために必要なデータ点を正確に求める力をつけることである。普段の問題演習の中でも、どのような化学反応が起こっているのかを考え、論理的に立式し計算することが重要である。あとは得られたデータ点をグラフに描く「表現力」が必要となる。また「思考力・判断力」および「表現力」は、基礎力を確実に身につけてこそ培われるものであるので、「学習の手引き」なども活用して、確実な基礎力を養っていこう。模試の結果に一喜一憂せず、基礎事項の理解度を点検しなおし、十分な対策を講じておこう。

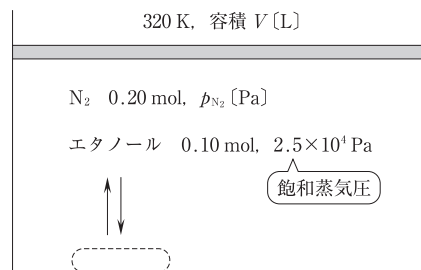
## 【化学】

情報を整理して、解法の道筋を見つけよう！

### 第3問 問4

飽和蒸気圧を含んだ気体の問題

気体の問題は状況の整理が重要です。その整理に図を活用してみましょう。操作4の内容を整理してみます。



エタノールの液体はちょうどなくなった！

#### エタノールについて

- ① 問3で、320 K、8.3 L、 $2.5 \times 10^4$  Paを占めるときの気体のエタノールの物質質量 $n = 7.81 \times 10^{-2}$  molを求めているので、同温、同圧の条件のとき、気体の体積と物質質量が比例するから、

$$\frac{V [\text{L}]}{8.3 \text{ L}} = \frac{0.10 \text{ mol}}{7.81 \times 10^{-2} \text{ mol}}$$

- ② 理想気体の状態方程式より、

$$2.5 \times 10^4 \text{ Pa} \times V [\text{L}] = 0.20 \text{ mol} \times 8.3 \times 10^3 \text{ Pa} \cdot \text{L} / (\text{K} \cdot \text{mol}) \times 320 \text{ K}$$

#### 窒素について

- ③ 窒素は、操作1～操作4において、ボイルの法則が成り立つ。

$$3.2 \times 10^4 \text{ Pa} \times 16.6 \text{ L} = p_{N_2} [\text{Pa}] \times V [\text{L}]$$

- ④ 理想気体の状態方程式より、

$$p_{N_2} [\text{Pa}] \times V [\text{L}] = 0.20 \text{ mol} \times 8.3 \times 10^3 \text{ Pa} \cdot \text{L} / (\text{K} \cdot \text{mol}) \times 320 \text{ K}$$

- ⑤ 混合気体では、分圧の比=物質量の比が成り立つから、

$$\frac{p_{N_2} [\text{Pa}]}{2.5 \times 10^4 \text{ Pa}} = \frac{0.20 \text{ mol}}{0.10 \text{ mol}}$$

これらの式から、 $V$  [L]および $p_{N_2}$  [Pa]を求めることができます。 $V$  [L]の求め方として、②の解法(手引きの解法)以外に①の解法も可能です。また、 $p_{N_2}$  [Pa]の求め方として、③と④の解法(手引きの解法)以外に⑤の解法も可能です。複数の解法を考えることは、考え方の幅を広げることになり、実力アップにつながるでしょう。

## 【生物基礎】

実験内容を整理して、矛盾しない選択肢を選ぶ力を身につけよう！

### 第2問 問4 感覚神経と運動神経の経路の推定

実験内容を整理して、矛盾しない選択肢を選ぶ力が必要な問題

この問題は、脊髄の一部を損傷したヒトに関する文章を読み、感覚神経や運動神経の経路を推定するものである。(1)と(2)では、一方の足で触覚または痛覚が失われた事実をもとに感覚神経の経路を推定する力、(3)では一方の足を動かさなくなった事実をもとに運動神経の経路を推定する力が必要とされる。

ヒトでは、右足からの情報は脳の左側領域(左脳)に、左足からの情報は脳の右側領域(右脳)に伝わる。一方、右脳からの情報は左足に、左脳からの情報は右足に伝わる。したがって、選択肢のアとイが感覚神経の経路で、ウとエが運動神経の経路と分かる。

設問文を読むと、脊髄の中ほどの左側領域を損傷したヒトでは、左足からの触覚刺激の情報が失われ、右足からの痛覚刺激の情報が失われたとある。したがって、左足からの触覚刺激の情報が右脳に伝わる経路は、選択肢アのように、脊髄の左側から入った後、損傷部位(脊髄の中ほどの左側領域)を通り、その後、右脳に達すると考えられる。一方、右足からの痛覚刺激の情報が左脳に伝わる経路は、選択肢イのように、脊髄の右側から入った後、脊髄の左側領域に進み、損傷部位(脊髄の中ほどの左側領域)を通して左脳に達すると考えられる。

また、脊髄の中ほどの左側領域を損傷したヒトでは、左足を自由に動かすことができなかったとある。したがって、右脳からの情報が左足に伝わる経路は、選択肢ウのように、右脳から脊髄の左側に進み、損傷部位(脊髄の中ほどの左側領域)を通して左足に達すると考えられる。

このように設定が複雑な考察問題では、わずかな読み間違いによって大きく失点する場合もある。すべて頭の中だけで考えるのではなく、設問文の内容を自分なりに図式化しながら読み進めると、考察問題が解きやすくなる。

## 【生物】

自身で仮説を立てた後、検証していく思考力を身につけよう！

## 第3問 問8

自己抗体によって起こるチロキシン濃度の異常に関する問題

ホルモンの分泌は、フィードバック調節によって制御されている。教科書で学んだフィードバック調節の知識をもとに、図1に示された患者Rのデータを解釈する。

(1)は、患者Rに起こると考えられる症状を選ぶ問題である。図1を見ると、患者Rではチロキシンの濃度が正常値よりも高くなっている。チロキシンは代謝を促進する作用があるので、代謝が促進されるとどうなるかを考えればよい。

(2)は、患者RでTRH、TSH、チロキシン濃度が異常値を示したしくみを答える論述問題である。原因は抗体Sなので、まず抗体Sによって何が起こったかを考える。そこで、仮説を立ててみる。

設問文中に抗体Sは「TSH受容体に結合する」とあるが、TSHは甲状腺に作用するホルモンなので、TSH受容体をもつのは甲状腺ということになる。抗体Sが受容体に結合すると、抗体SによってTSHが受容体に結合できなくなり、甲状腺が刺激されず、チロキシン分泌が促進されないと考えることができる(仮説1)。この場合、チロキシンの濃度は正常値よりも低くなる。また、抗体Sが受容体に結合することで、TSHと同様に甲状腺を刺激して、チロキシン分泌を促進するとも考えられる(仮説2)。この場合、チロキシンの濃度は正常値よりも高くなる。実際のデータ(図1)を見ると、患者Rのチロキシン濃度は正常値よりも高いので、仮説2が正しいことがわかる。

後は、チロキシン濃度が高くなるとどうなるかを考えればよい。チロキシン濃度が高くなると、フィードバック調節によって、間脳の視床下部からのTRH、脳下垂体前葉からのTSHの分泌が抑制され、TRH、TSHの濃度は正常値よりも低くなる。このとき、抗体Sが減るわけではないので、チロキシン、TRH、TSHの濃度はこの状態で維持されることになる。

上記のように、自身で仮説を立てて検証する練習をしておくと、思考力が鍛えられるはずだ。今のうちに、しっかりと思考力を鍛え、本番に備えておこう！

## 【地学基礎】

与えられた情報をもとにして、断層などの地質構造が判断できるようにしよう

## 第2問 問2

断層や地層の分布に基づいて断層の種類を求める問題

この問いでは、地点Qで見られる断層Fの種類が問われていますので、断層の動きによる断層の種類を答えればよいのですが、逆転層など、断層の種類とは無関係の解答は論外です。正断層や逆断層、右横ずれ断層、左横ずれ断層のいずれかを答えればよいのです。したがって、正断層や逆断層、右横ずれ断層、左横ずれ断層というのは、地盤がどういわずれ方をするのかを覚えていることは前提です。この知識を前提とし、図1を見て、断層Fを挟んで上下に同じ地層が現れている(くり返されている)ことに気づき、断層の種類を判断する、というのがポイントになります。横ずれ断層の場合、地盤が水平方向に動くので、断層Fを挟んで上下に同じ地層が現れるということは起こりえません。ですから、正断層か逆断層かということになります。正断層は、上盤側が下盤側に対してずり落ちている場合なので、【学習の手引き】の図2-1左図にあるように、同じ火山灰層でも、断層で切られて、下盤側にある火山灰層と上盤側にある火山灰層が離れる状況になります。一方、逆断層は、上盤側が下盤側に対してずり上がっている場合なので、【学習の手引き】の図2-1右図にあるように、同じ火山灰層でも、断層で切られて、下盤側にある火山灰層と上盤側にある火山灰層が近づき、上から見ると重なる状況になります。図1で、断層Fの上下に火山灰層Yがある(あるいは地層Eと火山灰層Yが断層Fを挟んでくり返されている)ことが図1で見られる事実として明らかですから、これを根拠として断層Fは逆断層であると判断できるわけです。

この問いのように、基本知識を前提とし、図を用いて地質構造、地層や岩体の新旧関係を求めていくような応用問題は共通テストでも出題される可能性があります。過去問などを通して問題演習をたくさん行い、慣れておきましょう。

## 【地学】

問われた内容を正しく把握し、的確に論述する力を身につけよう

## 第4問 問5

高緯度海域の海水が沈み込むしくみについて論述する問題

本問では地球規模の海洋の循環についての理解が求められている。海洋の循環には、おもに海洋上を吹く風によって生じる表層の流れと、海水の密度差によって生じる深層の流れがある。本問は後者に関わるものである。深層の海水は、表層の海水のうち密度が大きくなった海水が沈み込んだものであり、北半球では北大西洋北部、南半球では南極海の海水が起源となっている。海水の密度に関わる要因は「水温」と「塩分」であるので、これらについて触れながら、高緯度海域の海水の密度が大きくなる理由を述べる必要がある。

本問の第1のポイントは「水温」である。海水の密度は水温が低いほど大きくなる。高緯度海域は寒冷な地域であることから、海面水温が低く、海水の密度は大きくなっている。

第2のポイントは「塩分」である。海水の密度は塩分が高いほど大きくなる。海水の塩分が高くなる理由としては、中緯度の亜熱帯高圧帯の海域のように「蒸発量が降水量を上回る」こともあげられるが、高緯度海域では、海水が形成されるとき、氷には塩類が取り込まれないため、その分だけ凍らなかつた海水中の塩類の濃度が高くなるからである。

答案では、意外にも「水温」について触れている解答文は少なかった。また、「塩分」についても、「高緯度の海水は塩類を多く含むから」のように「海水の形成」に言及していない答案が見られた。論述問題ではどこまで内容を書けばよいのか悩むことがある。本問の場合、「水温が低い」「塩分が高い」の二点をあげることは必須であるが、これだけでは指定の字数に達しないことから、高緯度海域で塩分が高くなる原因である「海水の形成」にも触れながら解答文をまとめればよい。指定された字数も盛り込むべき内容を判断するためのヒントである。

今回できなかった受験生は、海洋の表層と深層の流れのどちらについても、流れのしくみや循環の概要を説明できるように学習を進めてもらいたい。

# 地理歴史

## 【世界史】

資料問題に対応しよう

### 第3問 問4

清の皇帝による政策

明末清初期の動乱に巻き込まれたある地域について記された資料を参考に、資料当時の清の皇帝の政策として正しいものを選択する問題である。資料は城塞を包囲された側と包囲している側が、降伏にあたって作成した降伏条件を記したものである。この資料の「オランダ国」「会社」などの文言から、降伏する側がオランダ東インド会社であること、「国姓爺殿に引き渡されるべき」から、包囲している側が「国姓爺」こと「鄭成功」の勢力であることを読みとることができる。すると、「明末清初期の動乱に巻き込まれたある地域」は、台湾ということになる。また、資料には、「1661年」から「1662年」と時期が明示されていることにも注目したい。この資料の読解を前提として、問題は、「資料に記されている地域は、このあと、清によって征服された。当時の清の皇帝は、領土の安定や拡大に大きな功績を残した。」と続く。鄭成功一族が支配した鄭氏台湾と敵対し、三藩の乱ののち、台湾を征服して中国を統一した皇帝は康熙帝であるので、問題文の「当時の清の皇帝」は康熙帝であると導くことができる。その上で、選択肢を検討してみると、「①北京に遷都した」は、李自成の乱による明の滅亡を受けて北京に入城し、都を盛京（現在の瀋陽）から北京に遷都した順治帝の事績である。「③キャフタ条約を締結した」は、1727年にロシアと、シベリアとモンゴルの国境を画定した雍正帝の事績である。「④ジュンガルを滅ぼした」は、18世紀中頃にジュンガルを滅ぼしてイリ地方とタミル盆地を支配下に加えた乾隆帝の事績である。従って「②ネルチンスク条約を締結した」が残る。毛皮を求めてシベリアを東進したロシアは、オホーツク海に至って南下し、アムール川（黒竜江）沿いに拠点を築こうとした。これに対し、康熙帝は軍を派遣してアムール川一帯のロシア勢力を北方に駆逐し、その後、イエズス会士を通訳とした交渉で、ピョートル1世治世下のロシアが要求する交易を認める代わりに、国境をスタノヴォイ山脈（外興安嶺）とアルゲン川を結ぶ線とする内容で、1689年にネルチンスク条約を結んで、「領土の安定」に「大きな功績を残した」のである。

## 【日本史】

日明貿易の特徴について正確に理解しよう

### 第2問 問7

日明貿易の特徴

第2問の問7では、日明貿易の特徴についての短文記述問題を出題した。

採点に際しては、①日本国王から明の皇帝への朝貢形式をとること、②私貿易船と区別するために勘合を使用したことの2点を主な採点ポイントとした。外交史の基本事項を扱う問題であり、短文記述問題としてはそれほど難しくはなかったのだが、不正確な理解により苦戦する受験生が多かった。

まず、指定語句の「日本国王」について。「天皇が日本国王に任命された」などのように「日本国王=将軍(室町殿)」という理解がない答案や、「将軍が自ら日本国王と名乗った」「日本国王と明の皇帝は対等」などのように将軍(室町殿)が明の皇帝の臣下として日本国王に冊封された点を理解していない答案、さらに「将軍の呼称を日本国大君から日本国王へ改めさせた」などのように江戸時代の正徳の政治期における朝鮮通信使の知識と混同している答案が目立った。次に、指定語句の「勘合」について。こちらでも、「日本国王が発行した勘合」(勘合は明の皇帝が発行したものである)や「日本国王と書かれた勘合」などのように理解が不正確な答案が多く見られた。今回の採点に際しては、上記のような指定語句の理解が誤っている答案については加減対象としていないので注意してほしい。また、上記の指定語句を正確に使用している答案については、貿易の形態が朝貢形式をとっていることを指摘していなかったり、勘合の使用目的について私貿易船と区別することを的確に指摘できていなかったりするなど、内容面でやや不十分な答案が散見した。なお、今回の答案を見ていると「倭寇」の誤字が多かったことも付言しておく。

本問は、短文記述問題としては基本的な問題であり、日本国王から明の皇帝への朝貢形式をとること、勘合を用いて私貿易船と区別したことを指摘すれば、3、4点は獲得できる。しかし、上記のようなミスをした答案は低得点に終わり、受験生間で得点差が開いた。短文記述問題で高得点をとるためには、(当然のことながら)歴史事象についての正確な理解が一番のカギとなる。日ごろの学習においては、安易な暗記に走るのではなく、教科書などを熟読して正確な理解に努めてほしい。

## 【地理】

地形図の読図力を身につけよう

### 第1問 問4

地形図上での面積計算や集落立地などの読図問題

2万5千分の1地形図を用いた関東平野の地形についての読図問題である。(1)の面積計算で得点できなかった受験生は、地形図上の長さから実際の面積を計算する方法がわかっていないか、haという面積の単位を知らないかのいずれか(あるいはその両方)である。地形図上の長さから実際の面積を求める方法として、絶対にしてはならないのは、地形図上の長さから先に面積を計算し、後で実際の面積に換算することである。今回84000という解答がかなりあったが、それは地形図上の面積の $2.4 \times 1.4 = 3.36$ を計算して25000倍した( $3.36 \times 25000 = 84000$ )ためであろう。地図上の長さから実際の面積を計算するには25000倍ではなく、 $25000 \times 25000$ 倍しなければならない。正しい方法は、まず辺の長さを実際の長さに換算し( $2.4 \times 25000 = 60000\text{cm} = 600\text{m}$ ,  $1.4 \times 25000 = 35000\text{cm} = 350\text{m}$ )、そのうえで長方形の面積を出す( $600 \times 350 = 210000\text{m}^2$ )ことである。また、面積の単位としてa(アール)やha(ヘクタール)もある。それらとmとの関係をしっかりと身につけてほしい。 $1\text{ha} = 100\text{m} \times 100\text{m}$ ,  $1\text{a} = 10\text{m} \times 10\text{m}$ の面積となる。

もう一つ問4で差がついたのは(4)の集落が立地する地形の読み取りである。この問題では、地形の知識をもとに思考力を働かせれば解答できたはずである。氾濫原では、集落は少しでも高くなった河川沿いの自然堤防に立地するが、自然状態の河川は流路が変わることがあるので、現在の河川沿いでなくても自然堤防ができることがある。このような知識があれば、氾濫原で河川から離れたところにある集落は、かつての河川沿いの自然堤防に立地しているのではないかと判断できる。地形図問題に強くなるにはさまざまな地形を表した地形図をできるだけ多く見ておくことが必要である。紙の地形図を購入しなくても地理院地図なら簡単に全国の地形図を見ることができ、自然堤防、旧河道、扇状地、台地などの地形分類も地形図と重ね合わせて見ることができる。地理院地図を利用して、等高線による地形の表現方法や、集落が立地する地形の特徴などを読み取れるようになってほしい。

# 公 民

## 【政治・経済】

図表を用いて世界各国の電源構成の特徴について理解しよう

### 第5問問9

#### 世界各国の電源構成

本問は、ドイツ・フランス・日本の2021年時点の電源構成を示した表を掲げて、各国の電力供給の特徴についての理解を試す出題である。経済分野では、本問のように、グラフを示して日本や世界の現状に関するデータへの理解を問う出題がなされる可能性が高い。日頃の学習でも、その点を意識した取り組みが求められていると言える。

この問題では、日本だけでなく、ドイツやフランスの電源構成も示されている。したがって、現在の日本の電源構成を知るだけでなく、「他の国と比較して日本の電源構成にはどのような特徴があるか」を意識して学習しておくことが、解答には必要である。

まずAは、原子力発電の比率が約7割と非常に高い。フランスの電源は原子力発電への依存比率が高いことを特徴としていることはよく知られており、入試でも問われることが多い事項である。したがってAはフランスである。残っているBとCについては、「石炭」「石油その他」「天然ガス」といった化石燃料による発電の比率の合計値が、BはCより高くなっている。日本は他の主要国と比較して、化石燃料への依存比率が高いことが指摘されている。このことからBが日本であると決まる。また、ドイツは化石燃料による発電から再生可能エネルギーによる発電への転換を積極的に進めており、再生可能エネルギーの比率が高い水準にある。このことからCがドイツであるという判断も可能である。

なお、この問題は、上記のような知識をもっていることを前提に、どれが正解なのかを「思考」し「判断」することを求めている。「この表の項目や数値をそのまま丸暗記する」ことを要求しているわけではないことには、注意が必要である。図表を用いた問題について学習するにあたっては、その問題が「どういう事実・知識を求めているのか」を意識することが重要である。

## 【倫理】

思想に関する知識と資料の読解力をともに重視しよう！

### 第4問 問1(1)

#### ヒュームの思想についての知識と資料文の読解力を試す問題

本設問では、イギリス経験論の思想家であるヒュームの『人性論』を資料として取り上げ、ヒュームの思想についての知識と、資料文の読解力をともに試している。

まず選択肢の前半に注目すると、ヒュームの思想を正しく説明しているのは、②と③である。ヒュームは、原因と結果との結びつき(因果性、因果関係)とは、客観的なものではなく、過去の経験を通じて、習慣的な連想や想像力の働きによってつくられた信念にすぎないと主張した。また、ヒュームは、人間の心を実体として捉える考え方を批判し、心は「知覚の束」にすぎないと主張した。①の前半はヒュームではなくライブニッツの思想についての説明となっている。合理論の思想家であるライブニッツは、宇宙の万物はモノイドというそれ以上分割できない無数の精神的実体によって構成されており、それぞれのモノイドの間には神によってあらかじめ調和がもたらされていると説いた。また、④の前半はヒュームではなく経験論の思想家であるパークリーの思想についての説明となっている。パークリーは、心の外に物体は実在しておらず、実在するのは心だけであるという考えから、「存在するとは知覚されることである」と説いた。

次に、選択肢の後半を見ると、資料を正しく読み取っているのは①と③である。資料では、人間の行為は理性ではなく情念によって生ずるのであって、「理性は情念の奴隷」である、という趣旨の主張がなされている。②と④の後半はこうした資料の内容に反する記述となっており不適当。以上から、前半の記述・後半の記述ともに適当なのは③だけであり、③が正解となる。

このようなタイプの設問に対応できるように、思想についての知識を身につけることはもちろん、それに加えて資料の読解力も高めてほしい。模試や過去問はよい練習素材となるだろう。

## 別解のお知らせ

生物の「学習の手引き」に以下のような別解が発生しましたので、お知らせいたします。

●学習の手引き『数学・理科』冊子P.133

「生物」 ④ 問8 【解答】

【誤】 18%

↓

【正】 18% 【別解】 0%

雌の組換え価は、手引きの解説の通り18%となります。

雄の組換え価は、雄では組換えがおきないため0%が正解となります。

## 「採点に関する問い合わせ」について

このたびは、第2回全統記述模試を受験していただきありがとうございます。答案・個人成績表を見直した結果、今回の採点や得点に関して疑問や質問がある場合は、以下の手順に従ってお問い合わせください。

### ①送付先

右の問い合わせ用紙に記入し、31ページに記載されている河合塾の営業部あてに郵送にてお送りください。なお、河合塾生（塾生として申し込んだ大学受験科・高校グリーンコース生）の方は、所属校舎へご提出ください。

### ②問い合わせ用紙の記入方法

太枠内をすべて記入してください。問い合わせ内容は記入例を参考に以下の事項を記入してください。

- 科目名、大問・設問番号
  - 内容に該当する項目（A～Eの記号を選択）
  - 問い合わせ内容記入欄に、具体的な内容を補足
- \* 科目や項目が複数ある場合は、それぞれについて問題番号と内容を記入してください。  
\* なお、志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

### ③提出していただくもの

- 「採点に関する問い合わせ用紙」（提出前に必要事項にもれがないか、内容が具体的に記入してあるかを再度確認してください。）
- 「個人成績表」（コピーの場合は、両面を提出してください。）  
\* ただし、Web返却対象者は必要ありません。
- 第2回全統共通テスト模試との総合学力評価（ドッキング評価）についての問い合わせの場合は、第2回全統共通テスト模試の個人成績表もご提出ください。（コピーでもかまいません。また、Web返却対象者は必要ありません。）

上記3点を同封し、封筒の表に朱書きにて「第2回全統記述模試 採点に関する問い合わせ用紙在中」と明記してご郵送ください。

- \* 答案については提出不要です。ただし、解答用紙番号をもとに河合塾にて答案データ照合を行いますので、お問い合わせ箇所と内容について、具体的に記入してください。（不明点がある場合、確認のためにご連絡する場合があります。）  
なお、お問い合わせ箇所をより正確に指摘するため、答案（コピー）に明示し、添付されてもかまいません。

### ④送付締切日

10月30日(木)到着分まで受け付けいたします。

### ⑤返送日

回答は、12月1日(月)頃発送の予定です。

### 【個人情報の取り扱いについて】

- 問い合わせ用紙に記入された個人情報は、厳重に取り扱い適正な管理を実施します。
- 利用目的
  - ・成績処理および成績返却
  - ・個人を特定できない方法による統計資料の作成

「採点に関する問い合わせ用紙」の記入・提出方法についてご不明な点は、全統模試サポートセンターへお問い合わせください。

※河合塾生（塾生として申し込んだ大学受験科・高校グリーンコース生）の方は、所属校舎にお問い合わせください。

全統模試サポートセンター（12:00～19:30 日曜、祝日および12/31～1/3は受付を行いません。）

0120-977-558

\*全統模試サポートセンターでは、正確な応対と対応品質向上のため、通話内容を録音させていただいております。

切りとり線

## 2025年度 第2回全統記述模試 採点に関する問い合わせ用紙

\*太枠内をすべてご記入ください。

提出日 月 日

フリガナ 氏名				受験会場名				
受験番号				個人成績表の解答用紙番号	—			
在・卒高校名				クラス名			クラス番号	
住所 (連絡先)	〒 —			*マンション名、部屋番号まで記入してください。				
電話番号	( ) —			携帯電話番号	( ) —			
*お問い合わせの該当箇所・内容がわかるように、詳細に記入してください。								
科目名		大問	設問番号	項目				
(例) 数学Ⅱ型		②	(2)	B				
←該当する項目（A～E）を左に記入してください。								
A. 正答が×になっている。								
B. 部分点が正しく与えられていない。								
C. 採点されていない箇所がある。								
D. 成績表の得点が答案と異なる。								
E. その他（下記に具体的に記入してください。）								
*志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。								
【問い合わせ内容記入欄】*上の表に対する補足説明等をできるだけ詳しく記入してください。								
(例) 成立する場合の説明に対して部分点が与えられていない。								
[回答欄]								
								回答者

受付日	受付者

返却日	返却者



## お問い合わせ先一覧

### ■模試について

- ①個人でお申し込みの方 河合塾全統模試サポートセンター 0120-977-558  
②学校を通じてお申し込みの方 河合塾全統模試サポートセンター 0120-717-558  
③河合塾生の方 [高校グリーンコース生専用フリーダイヤル] 0120-751-577  
※高校グリーンコース生以外の塾生の方は所属校舎へお問い合わせください。

\*河合塾全統模試サポートセンター/高校グリーンコース生専用フリーダイヤル(12:00~19:30 日曜、祝日および12/31~1/3は受付を行いません。)

### ■採点に関する問い合わせ用紙の記入・提出方法について

- ①河合塾生の方 所属校舎  
②河合塾生以外の方 河合塾全統模試サポートセンター 0120-977-558  
[www.kawai-juku.ac.jp/zento/grades/request/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/grades/request/)



### ■採点に関する問い合わせ用紙の送付先 受付時間 9:00~17:00 (土日祝休み)

- 北海道営業 〒060-0809 札幌市北区北9条西3-3 (河合塾札幌校内) TEL(011)708-8584  
【担当地区:北海道】
- 東北営業 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-7-22 (河合塾仙台校自習棟内) TEL(022)215-7581  
【担当地区:青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島】
- 関東営業 〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-67-2 (河合塾大宮校内) TEL(048)647-9581  
【担当地区:茨城・栃木・群馬・埼玉・新潟・富山・長野】
- 首都圏営業 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-2 四谷グローバルスタディスクエア6階 TEL(03)6811-5532  
【担当地区:千葉・東京・神奈川・山梨】
- 中部営業 〒464-8610 名古屋市千種区今池2-1-10 (河合塾千種校内) TEL(052)735-1511  
【担当地区:岐阜・静岡・愛知・三重】
- 近畿営業 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-13-1 TEL(06)6372-5731  
【担当地区:石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・岡山・徳島・香川・高知】
- 中四国営業 〒732-0057 広島市東区二葉の里1-1-50 (河合塾二葉の里オフィス2階) TEL(082)264-4581  
【担当地区:島根・広島・山口・愛媛】
- 九州営業 〒810-8619 福岡市中央区渡辺通4-2-11 (河合塾福岡校内) TEL(092)714-5711  
【担当地区:福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄】